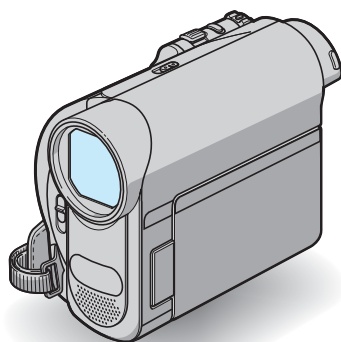
SONY

3-278-985-**01** (2)

デジタルビデオカメラレコーダー

HANDYCAM®

取扱説明書

DCR-HC62

H SERIES

⚠警告 **電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告 安全のために

→85～87ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにソニーの相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

**変な音・においがしたら
煙が出たら**
➡
1. **電源を切る**
2. **電池をはずす**
3. **ソニーの相談窓口に連絡する**

裏表紙に**ソニーの相談窓口の連絡先**があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

1. **すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂の恐れがあります。**
2. **液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。**
3. **液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。**
4. **液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。**

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

電池について

「安全のために」の文中の「電池」とは、バッテリーパックも含みます。

使用前に必ずお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。

本機には2種類の取扱説明書があります。

- 取扱説明書（本書）
- 付属のアプリケーションを使用してパソコンと接続するための「ファーストステップガイド」（付属のCD-ROM内）

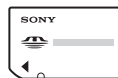
本機で使えるカセットについて

Mini DV マーク付きミニDVカセットが使えます。カセットメモリー機能には非対応です（詳しくは74ページ）。

本機で使える“メモリースティック”について

本機では次のマークのついた"メモリースティック"が使えます（詳しくは75ページ）。

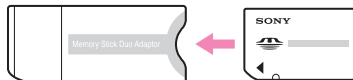
- MEMORY STICK DUO（“メモリースティック　デュオ”）
- MEMORY STICK PRO DUO（“メモリースティック　PRO　デュオ”）
- MEMORY STICK PRO-HG DUO（“メモリースティック　PRO-HG　デュオ”）

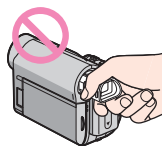
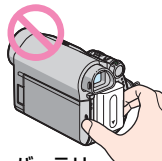
“メモリースティック　デュオ”
（本機で使用するサイズ）

“メモリースティック”
（本機では使用できません）

- “メモリースティック　デュオ”以外のメモリーカードは使用できません。
- “メモリースティック　PRO　デュオ”は“メモリースティック　PRO”対応機器でのみ使用可能です。
- 使用可能な”メモリースティック　デュオ”の最新情報についてはホームページ上の「メモリースティック対応表」をご確認ください（裏表紙）。
- “メモリースティック　デュオ”本体およびメモリースティック　デュオ　アダプターにラベルなどは貼らないでください。

“メモリースティック　デュオ”を“メモリースティック”対応機器で使用する場合

必ず“メモリースティック　デュオ”をメモリースティック　デュオ　アダプターに入れてからお使いください。

メモリースティック
デュオ　アダプター

故障や破損の原因となるため、特にご注意ください。

- 次の部分をつかんで持たないでください。

ファインダー　　バッテリー

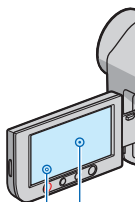
液晶画面

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「使用や保管場所について」もご覧ください（78ページ）。

次のページへつづく→

- 本機をケーブル類で他機と接続するときは、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと端子部の破損、または本機の故障の原因になります。

メニュー項目、液晶画面、ファインダーおよびレンズについてのご注意

- 灰色で表示されるメニュー項目は、その撮影/再生条件では使えません（同時に選べません）。
- 液晶画面やファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

- 液晶画面やファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。

録画/録音に際してのご注意

- 事前にためし撮りをして、正常な録画/録音を確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたがビデオで録画/録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

本書について

- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。
- 記録メディアやアクセサリーの仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

カール ツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイスレンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツァイスレンズとしての品質を維持しています。

MTF=Modulation Transfer Functionの略。

コントラストの再現性を表す指標です。被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値。

目次

準備する

撮る/見る

メニューで設定を変更する

ダビングや編集をする

次のページへつづく➡

パソコンとつなぐ

困ったときは

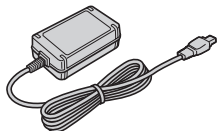
その他

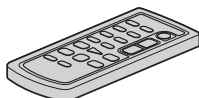
安全のために　85

各部のなまえ・索引

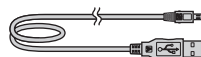
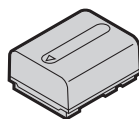
準備1：付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
（　）内は個数。

ACアダプター（1）（8ページ）

電源コード（1）（8ページ）

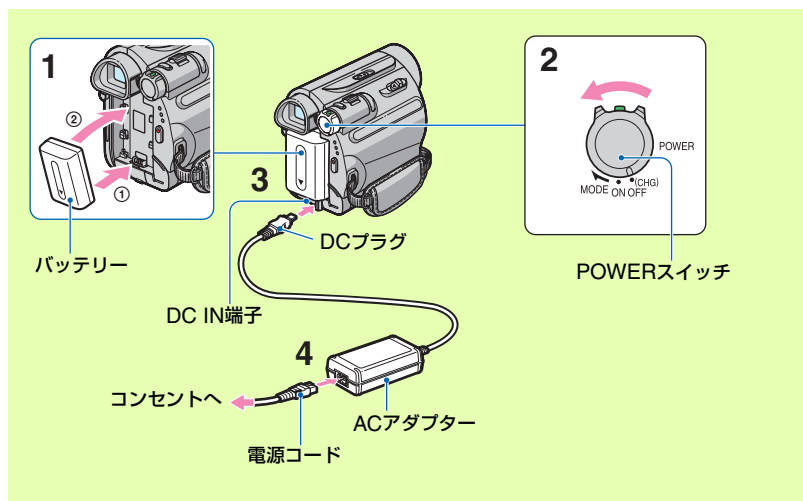
ワイヤレスリモコン（1）（91ページ）

ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。

A/V接続ケーブル（1）（27、50ページ）

USBケーブル（1）（55ページ）

リチャージャブルバッテリーパック NP-FH40（1）（8、76ページ）

CD-ROM「Handycam Application Software」（1）（59ページ）

取扱説明書 <本書>（1）

保証書（1）

準備 2：バッテリーを充電する

専用の"インフォリチウム"バッテリー(Hシリーズ)(76ページ)を本機に取り付けて充電します。

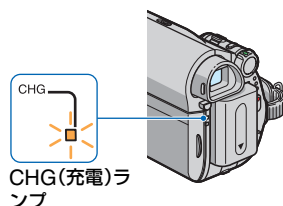
ご注意

- "インフォリチウム"バッテリーHシリーズ以外は使えません。

1 バッテリーと本体の端子を合わせ(①)、「カチッ」というまでしっかりはめる(②)。

2 POWERスイッチを「OFF (CHG)」(お買い上げ時の設定)にする。

3 ACアダプターのDCプラグの▲マークを下にして、本機のDC IN端子につなぐ。

4 電源コードをACアダプターとコンセントにつなぐ。

CHG(充電)ランプ

CHG(充電)ランプが点灯し、充電が始まります。充電が終了すると(満充電)、CHG(充電)ランプが消えます。ACアダプターを本機のDC IN端子から抜いてください。

ご注意

- ACアダプターを抜くときは、本機とDCプラグを持って抜いてください。

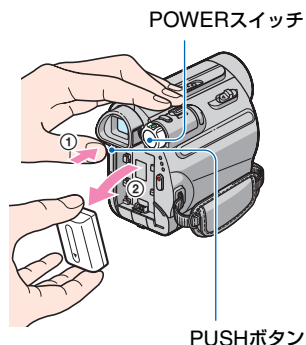
コンセントからの電源で使うには

充電するときと同じ接続で使う。
バッテリーを取り付けたままでもバッテリーは消耗しません。

バッテリーを取りはずすには

① POWER スイッチを「OFF (CHG)」にして、PUSH ボタンを押す。
② バッテリーを矢印の方向へ取りはずす。

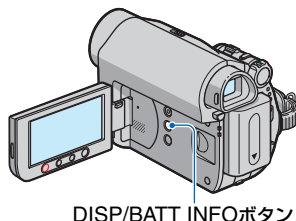
POWERスイッチ

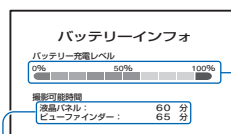
PUSHボタン

保管するときは

長い間使わないときは、バッテリーを使い切ってから保管する（77ページ）。

バッテリーの残量を確認するには

POWERスイッチを「OFF (CHG)」にしたあと、DISP/BATT INFOボタンを押す。

DISP/BATT INFOボタン

しばらくすると、バッテリーの情報が約7秒間表示されます。情報が表示されている間にボタンを押すと、最大20秒まで表示を延長できます。

およそのバッテリー残量

およその撮影可能時間

バッテリー残量は本機の液晶画面上で以下のように表示されます。

表示	バッテリー残量
	充分ある
	撮影/再生がもうすぐできなくなる
	充電したバッテリーと交換するか、充電する

充電時間

使い切った状態からのおよその時間(分)。

バッテリー型名	満充電時間
NP-FH40(付属)	125
NP-FH50	135
NP-FH70	170
NP-FH100	390

撮影可能時間

満充電からのおよその時間(分)。

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時*
NP-FH40(付属)	100	50
	110	55
NP-FH50	115	55
	130	65
NP-FH70	245	120
	280	140
NP-FH100	565	280
	635	315

* 実撮影時とは、撮影スタンバイ、POWER スイッチの切り換え、ズームなどを繰り返したときの時間です。

ご注意

- それぞれの時間は、次の条件によるものです。
  上段:液晶画面を使用したとき
  下段:液晶画面を閉じてファインダーを使用したとき

再生可能時間

満充電からのおよその時間(分)。

バッテリー型名	液晶画面で再生	液晶画面を閉じて再生
NP-FH40(付属)	120	150
NP-FH50	140	170
NP-FH70	300	370
NP-FH100	695	845

バッテリーについて

- バッテリーの交換は、POWERスイッチを「OFF (CHG)」にしてから行ってください。
- 次のとき、充電中のCHG(充電)ランプが点滅したり、バッテリーインフォ(9ページ)が正しく表示されないことがあります。
  – バッテリーを正しく取り付けていないとき
  – バッテリーが故障しているとき
  – バッテリーが劣化しているとき
  (バッテリーインフォ表示のみ)
- 電源コードをコンセントから抜いても、ACアダプターが本機のDC IN端子につながれている限り、バッテリーからは電源供給されません。

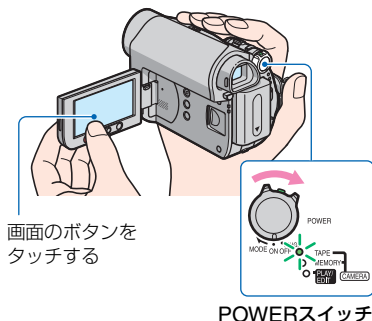
充電/撮影/再生時間について

- 25℃(10℃〜30℃が推奨)で使用したときの時間です。
- 低温の場所で使うと、撮影/再生可能時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影/再生可能時間はそれぞれ短くなります。

ACアダプターについて

- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

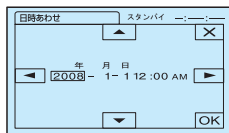
準備 3：電源を入れて日付時刻を合わせる

初めて電源を入れたときは日付、時刻を設定してください。設定しないと、電源を入れたり、POWERスイッチを切り換えるたびに［日時あわせ］画面が表示されます。

画面のボタンをタッチする

POWERスイッチ

1 **緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを矢印の方向へずらして、使用するモードの電源ランプを点灯させる。**

「CAMERA-TAPE」：テープに撮影時
「CAMERA-MEMORY」：“メモリースティック　デュオ”に撮影時
「PLAY/EDIT」：再生や編集時

［日時あわせ］画面が表示される。

2 **▲/▼で［年］を合わせる。**

2079年まで設定できます。

3 **►で［月］に移動し、▲/▼で合わせる。**

4 **同様に［日］、時、分を合わせる。**

真夜中は12:00AM、正午は12:00PMです。

5 **設定された日付時刻を確認し、OKをタッチする。**

時計が動き始めます。

電源を切るには

POWERスイッチをずらして、「OFF(CHG)」にする。

日付時刻を設定しなおすときは

P.メニュー→⇑/⇓→［日時あわせ］で設定できます（29ページ）。

ご注意

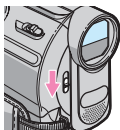
- 3か月近く使わないでおくと内蔵の充電式電池が放電して、日付、時刻の設定が解除されます。充電式電池を充電してから設定し直してください（81ページ）。
- お買い上げ時は、電源を入れて何もしない状態が約5分続くと、バッテリー消耗防止のため、自動的に電源が切れます（［自動電源オフ］、47ページ）。

ちょっと一言

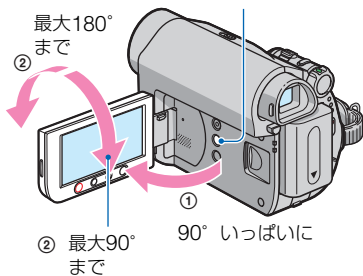
- 日付時刻は撮影時には表示されません。自動的にテープに記録され、再生時に表示させることができます（［日時/カメラデータ表示］（かんたん操作時は［日時データ表示］）、46ページ）。
- 反応する液晶画面のボタンの位置がずれているときはタッチパネルの調節（キャリブレーション）をしてください（80ページ）。

準備 4：撮影前の調節をする

レンズカバーを開く

LENS COVER(レンズカバー)開閉スイッチを「OPEN」にする。

撮影が終わったら、LENS COVER(レンズカバー)開閉スイッチを「CLOSE」にしてカバーを閉じる。

液晶画面を見やすく調節する

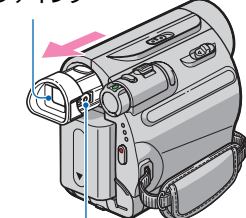
液晶画面を90°まで開き（①）、見やすい角度に調節する（②）。

ご注意

- 液晶画面を開閉するときや、角度を調節するときに、液晶画面の下にあるボタンを誤って押さないよう、ご注意ください。

ちょっと一言

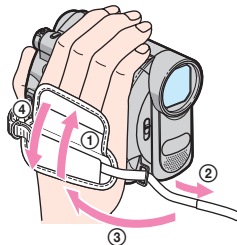
- 液晶画面をレンズ側に180°回転させると、外側に向けて本体に収められます。再生時に便利です。
- 液晶画面の明るさは、［パネル・VF設定］－［パネル明るさ］（45ページ）で調節できます。
- DISP/BATT INFOボタンを押すたびに、バッテリー残量などの情報が表示↔非表示と切り替わります。

ファインダーを見やすく調節する

バッテリー切れが心配なときや液晶画面で画像を見づらいときなどは、液晶画面を閉じて、ファインダーで画像を見ることもできます。

ちょっと一言

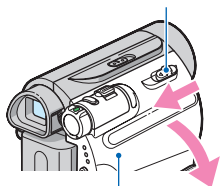
- ファインダーのバックライトの明るさは、メニューの［パネル・VF設定］－［VFバックライト］で設定できます（45ページ）。

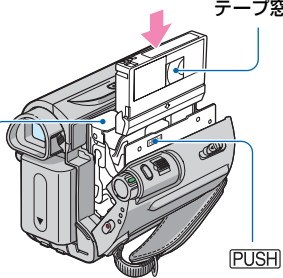
グリップベルトを調節する

グリップベルトを図の順番にしっかりと締め、正しく構える。

準備5：カセットや"メモリースティック　デュオ"を入れる

カセットを入れる

Mini DV マーク付きミニDVカセットのみ使えます（74ページ）。

1 OPEN/EJECTつまみを矢印の方向にずらしたまま、カセットカバーを開ける。

カセット入れが自動的に出て開きます。

2 テープ窓を外側にして、カセットを入れ、PUSH マークを押す。

カセット入れが自動的に収納されます。

ご注意

- **カセット入れが引き込まれているときに DO NOT PUSH の刻印部分を押さないでください。無理に押し込むと故障の原因になります。**

3 カセットカバーを手で閉める。

カセットを取り出すには

手順**1**と同じ操作でカセットカバーを開けて、カセットを取り出す。

ちょっと一言

- [録画モード] によって、録画可能時間は異なります（45ページ）。

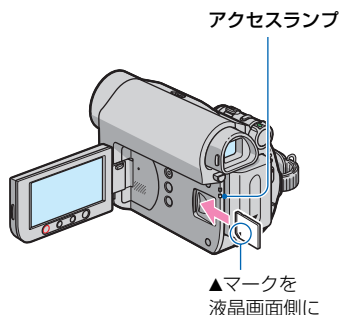
準備する

“メモリースティック　デュオ”を入れる

本機では次のマークのついた"メモリースティック"が使えます（詳しくは75ページ）。

- MEMORY STICK DUO（“メモリースティック　デュオ”）
- MEMORY STICK PRO DUO（“メモリースティック　PRO　デュオ”）
- MEMORY STICK PRO-HG DUO（“メモリースティック　PRO-HG　デュオ”）

1 液晶画面を開ける。

2 “メモリースティック　デュオ”を正しい向きに、「カチッ」というまで押し込む。

“メモリースティック　デュオ”を取り出すには

“メモリースティック　デュオ”を軽く1回押し、本体に沿ってすべらせるように取り出す。

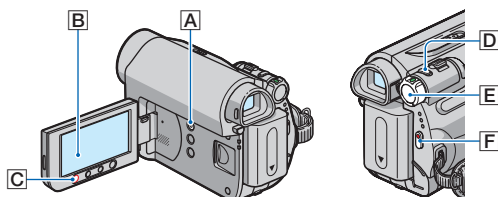
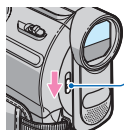
ご注意

- アクセスランプの点灯中や点滅中は、データの読み込みや書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“メモリースティック　デュオ”やバッテリーを取りはずしたりしないでください。画像データが壊れることがあります。
- 誤った向きで無理に入れると、“メモリースティック　デュオ”やメモリースティック デュオスロット、画像データが破損することがあります。
- “メモリースティック　デュオ”を指でつまんで無理に取り出さないでください。破損の原因になります。
- 出し入れ時には”メモリースティック　デュオ”の飛び出しにご注意ください。

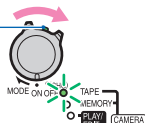
ちょっと一言

- 画質や画像サイズによって撮影可能枚数は異なります。撮影枚数については37ページをご覧ください。

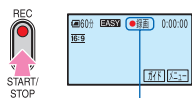
かんたんに撮って見る（EASY かんたん操作）

ほとんどの設定を自動化するので、細かい設定なしに簡単に撮影、再生できます。また、文字も大きく見やすくなります。

動画を撮る

1 POWERスイッチEで「CAMERA-TAPE」ランプを点灯させる。

「OFF (CHG)」から電源を入れるときのみ、緑のボタンを押しながらずらす。

2 EASYボタンAを押す。

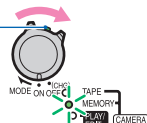
EASY が液晶画面Bに表示される。

3 REC START/STOPボタンF（またはC）を押して撮影を開始する。*

［スタンバイ］→［● 録画］

もう1度押すと、録画ストップ。

静止画(4:3)を撮る

1 POWERスイッチEで「CAMERA-MEMORY」ランプを点灯させる。

「OFF (CHG)」から電源を入れるときのみ、緑のボタンを押しながらずらす。

2 EASYボタンAを押す。

EASY が液晶画面Bに表示される。

3 PHOTOボタンDを押して撮影する。**

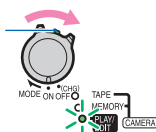
軽く押してピント合わせ　点滅→点灯　深く押して撮影

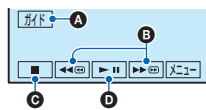
* 動画はテープにSP（標準）モードで記録されます。
** 静止画は“メモリースティック　デュオ”に、画質［ファイン］で記録されます。

次のページへつづく→

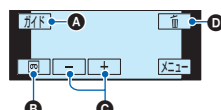
撮影した動画/静止画を見る

POWERスイッチ[E]で「PLAY/EDIT」ランプを点灯させ、液晶画面[B]をタッチして見る。

「OFF (CHG)」から電源を入れるときのみ、緑のボタンを押しながらずらす。

動画のとき

[◀◀]で巻き戻し、
[▶ II]で再生スタート。

A ガイド（23 ページ）
B 巻き戻し / 早送り
C 停止
D 再生 / 一時停止

静止画のとき

[メモリー]をタッチし、
[ー]/[＋]で再生。

A ガイド（23 ページ）
B テープ再生切り換え
C 前 / 次の画像を表示
D 削除（54 ページ）

かんたん操作をやめるには

EASYボタン[A]をもう1度押す。液晶画面の EASY 表示が消える。

かんたん操作中のメニュー設定

［メニュー］をタッチすると設定可能なメニューが表示されます。
詳しい設定方法は29ページをご覧ください。

- ほとんどのメニュー項目はお買い上げ時の設定に自動で戻ります（30ページ）。
- かんたん操作中は[P.メニュー]ボタンは表示されません。
- 画像に効果を加えたり、いろいろな設定をしたいときはかんたん操作を解除してください。

かんたん操作中は使えないボタン

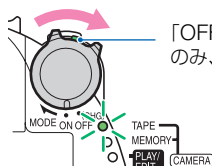
ほとんどの機能は自動設定されるため、次のボタンは使えません。使用不能のボタンを押すと、「EASY かんたん操作中は無効です」とメッセージが出ることもあります。

- (逆光補正)ボタン（20ページ）
- WIDE SELECTボタン（「CAMERA-MEMORY」時）（20ページ）
- PHOTOボタン（「CAMERA-TAPE」時）（17ページ）

撮る

動画を撮る

テープに動画を記録できます。

1 POWERスイッチを矢印の方向に繰り返しずらして、「CAMERA-TAPE」ランプを点灯させる。

2 REC START/STOPボタンA（またはB）を押す。

撮影をやめるときは、REC START/STOPボタンA（またはB）をもう1度押す。

ご注意

- 本機では“メモリースティック　デュオ”に動画を記録できません。

ちょっと一言

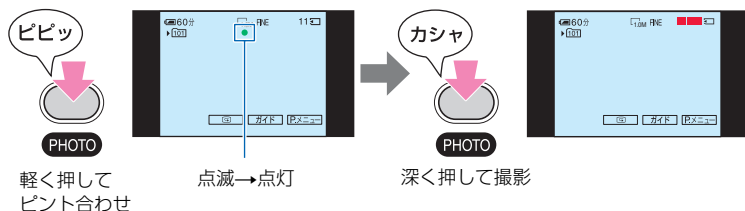
- テープに動画を撮影中や、スタンバイ中にPHOTOボタンを深く押すと、“メモリースティック　デュオ”に静止画を撮影できます。
  その場合の画像サイズは、撮影/スタンバイ中の動画の比率が16:9のときは[0.2M]で、4:3のときは[VGA（0.3M）]で記録されます（37ページ）。

次のページへつづく➡

静止画を撮る

“メモリースティック　デュオ”に静止画を記録できます。

1 POWERスイッチを矢印の方向に繰り返しずらして、「CAMERA-MEMORY」ランプを点灯させる。

2 PHOTOボタンを押す。

「カシャ」と鳴り、▮▮▮▮が消えると記録される。

“メモリースティック　デュオ”に記録した画像をすぐに確認する

［ ］をタッチする。画像を消すには、［ ］→［はい］をタッチする。

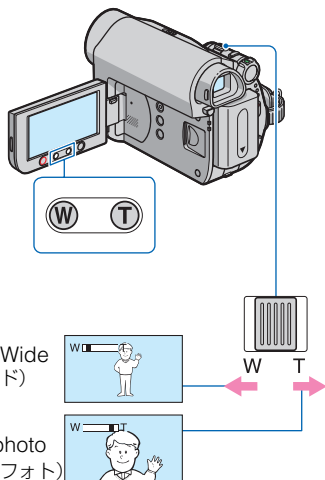
ちょっと一言

- 画質や画像サイズ、撮影可能枚数については37ページをご覧ください。

ズームする

25倍までズームできます。
倍率はズームレバーまたは液晶画面下のズームボタンで調整します。

広角：Wide
（ワイド）

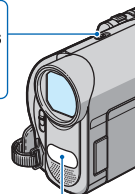
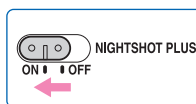
望遠：
Telephoto
（テレフォト）

ズームレバーを軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームする。

ご注意

- T（望遠）側にズームすると、手ブレ補正が効きにくくなります。
- ズームレバーから急に指を離すと操作音が記録される場合があるのでご注意ください。
- 液晶画面下のズームボタンでは、ズームする速さを変えることはできません。
- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。

ちょっと一言

- ［デジタルズーム］（36ページ）を使うと、25倍を超えたズームを使えます。

暗い場所で撮る（NightShot plus）

NIGHTSHOT PLUSスイッチを「ON」にする。（ と［“NIGHTSHOT PLUS”］が表示される。）

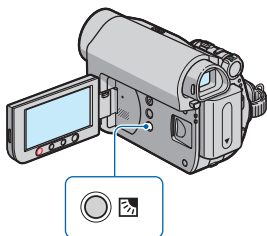
ご注意

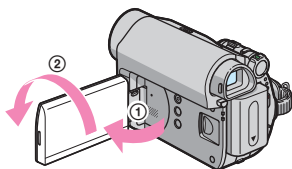
- NightShot plusとSuper NightShot plusは赤外線を利用するため、赤外線発光部を指などで覆わないでください。
- コンバージョンレンズ（別売り）ははずしてください。
- ピントが合いにくいときは、手動ピント合わせ（［フォーカス］、34ページ）をしてください。
- 明るい場所で使うと、故障の原因になります。

ちょっと一言

- さらに高感度で撮影するにはSuper NightShot plus（35ページ）、薄暗い場所でも明るくカラーで撮影するにはColor Slow Shutter（35ページ）が使えます。

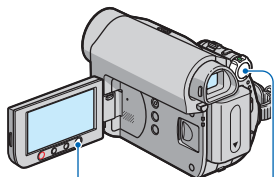
次のページへつづく→

逆光を補正する

(逆光補正)ボタンを押すとが表示されて補正される。解除するにはもう1度押す。

自分撮り(対面撮影)する

液晶画面を90°まで開いてから(①)、レンズ側に180°回す(②)。

ちょっと一言

- 液晶画面には左右反転で映りますが、実際には左右正しく録画されます。

撮影する画像の比率(ワイド/4:3)を選ぶ

動画の比率を選ぶには

① POWER スイッチを「CAMERA-TAPE」にする。

② WIDE SELECT ボタンを繰り返し押して、希望の設定にする。

ちょっと一言

- 4:3とワイド(16:9)での画角の差は、ズームの位置によって異なります。
- テレビで見るときは、メニューの[TVタイプ]で、お使いのテレビに合った画像の比率を設定できます(28ページ)。
- ワイド(16:9)で撮影した画像を[TVタイプ]を[4:3]に設定して見ると、被写体によっては画像が粗く見えることがあります(28ページ)。

静止画の比率を選ぶには

① POWER スイッチを「CAMERA-MEMORY」にする。画像の比率が 4:3 に切り替わります。

② WIDE SELECT ボタンを押して、希望の設定にする。

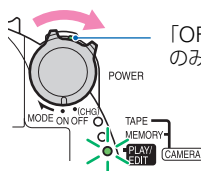
ご注意

- 静止画の画像サイズはワイド(16:9)のとき[0.7M](0.7M)、4:3では最大で[1.0M](1.0M)になります。
- ワイド(16:9)で撮影した静止画をお店でプリントするときは、注文時に「ハイビジョンサイズ」とご指定ください。ご指定がない場合、画像の左右が切れてプリントされます。

ちょっと一言

- 撮影枚数については、37ページをご覧ください。

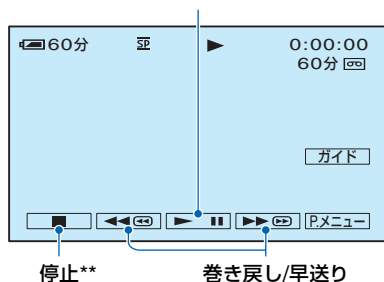
見る

POWERスイッチを矢印の方向に繰り返しずらして、「PLAY/EDIT」ランプを点灯させる。

「OFF (CHG)」から電源を入れるときのみ、緑のボタンを押しながらずらす。

動画を見る

◀◀ をタッチして見たい位置まで巻き戻し、▶ II をタッチして再生する。

タッチするたびに、再生/一時停止と切り替わる*

停止**　　巻き戻し/早送り

* 一時停止が3分以上続くと、自動的に停止します。
** テープ停止中で、画像が入っている"メモリースティック　デュオ"が入っているときは、■ が メモリー と表示されます。"メモリースティック　デュオ"に画像が入っていないときには、メモリー は表示されません。

音量を調整するには

P.メニュー →［音量］の順にタッチし、− / ＋ をタッチし調節する。

💡 ちょっと一言

- P.メニュー で見つからないときは、［メニュー］から選びます（29ページ）。

動画を見ながら場面を探す

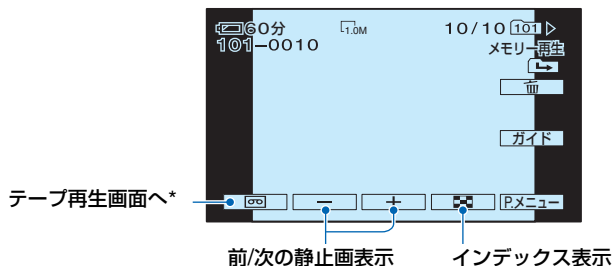
再生中に ▶▶ / ◀◀ をタッチしたままにする（ピクチャーサーチ）。
早送り中に見るときは ▶▶ を、巻き戻し中は ◀◀ をタッチしたままにする（高速アクセス）。

💡 ちょっと一言

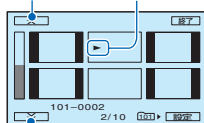
- テープは［ 変速再生］できます（43ページ）。

静止画を見る

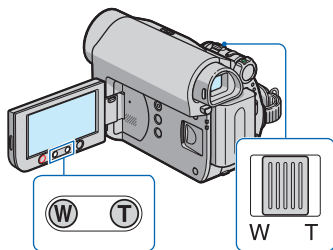
[メモリー]をタッチする。

最後に撮影した画像が表示される。

* テープ再生画面では[メモリー]と表示されます。

"メモリースティック　デュオ"の画像を一覧表示する（インデックス表示）

[インデックス]をタッチする。いずれかの画像をタッチすると1枚表示になる。

別フォルダの画像を見るときは、[インデックス]→[設定]→[再生フォルダ選択]をタッチし、[▲]/[▼]でフォルダを選び[OK]をタッチする（38ページ）。

再生ズームする

約1.1～5倍の範囲でズームできます。
倍率はズームレバーまたは液晶画面下のズームボタンで調整します。

① 拡大したい動画、または静止画を再生する。
② T(望遠)で画像を拡大する。
画面に枠が表示される。
③ 画面中央に表示したい部分をタッチする。
タッチした部分が画面中央に移動する。
④ W(広角)/ T(望遠)で画像の大きさを調節する。

終了するには、[終了]をタッチする。

ご注意

- 液晶画面下のズームボタンではズームする速さを変えることはできません。

やりたいことから機能を探す(使い方ガイド)

使い方ガイドを使うと、目的に合わせた設定画面へ本機が自動的に導きます。

本機には次の3種類のガイドがあります。

撮るガイド: 撮影する画像や状況にあった設定画面へ導きます。

便利ガイド: 本機の基本的な操作の設定画面へ導きます。

表示ガイド: 本機の画面に出ている表示の意味を確認できます。詳しくは94ページをご覧ください。

1 [ガイド]をタッチする。

2 表示される項目の中から目的のものを選ぶ。

夜景を撮りたい場合の例
[撮るガイド]→ [こんな場面には]の順にタッチし、[▲]/[▼]をタッチして[夜景の雰囲気を残して撮るには]を表示させる。

3 [設定]をタッチする。

目的に合った設定画面が表示される。
お好みで設定を行ってください。

かんたん操作に設定しているときは

かんたん操作中に設定できない項目は、[設定]をタッチすると、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って、かんたん操作を解除してから設定を行ってください。

ちょっと一言

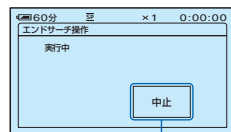
- 手順**3**で[設定]が表示されない場合は、画面の指示に従って操作してください。

テープの頭出しをする

最後に録画した場面を頭出しする（エンドサーチ）

カセットをいったん取り出すと、エンドサーチは働きません。

POWERスイッチを「CAMERA-TAPE」にして操作してください（17ページ）。

[OO] → [→I] をタッチする。

中止するには
ここをタッチする

最後に録画した場面の約5秒間が再生され、録画終了した場面でスタンバイになる。

ご注意

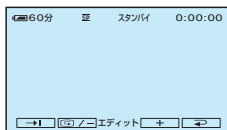
- テープの途中に無記録部分があると、正しく働かない場合があります。

ちょっと一言

- メニューからも[エンドサーチ操作]できます。電源ランプの位置が「PLAY/EDIT」のときは、パーソナルメニュー（29ページ）にショートカットがあります。

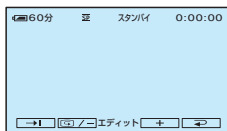
撮影を始める位置を探す（エディットサーチ）

画面を確認しながら、次に撮影開始する位置を探せます（音は出ません）。
POWERスイッチを「CAMERA-TAPE」にして操作してください(17ページ)。

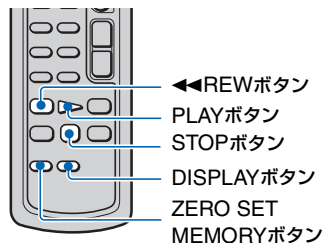
1 ［テープ］をタッチする。

2 ［↺/－］（場面を戻す）/［＋］（場面を進める）をタッチし続け、録画を開始したい位置に来たら離す。

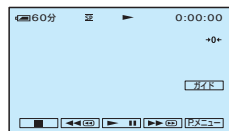
テープを停止した場面を確認する（レックレビュー）

テープを停止させた場面を約2秒間再生し、確認できます。
POWERスイッチを「CAMERA-TAPE」にして操作してください(17ページ)。

［テープ］→［↺/－］をタッチする。

停止した部分が約2秒間再生され、スタンバイに戻る。

見たい場面にすばやく戻す（ゼロセットメモリー）

POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にして操作してください(21ページ)。

1 **再生中に後で頭出ししたい場面で、リモコンのZERO SET MEMORYボタンを押す。**

テープカウンターが「0:00:00」になり、→0← が点灯する。

テープカウンターが表示されないときは、DISPLAYボタンを押す。

2 **見終わったら、STOPボタンを押す。**

3 **◀◀REWボタンを押す。**

「0:00:00」付近になると、自動的に停止する。
テープカウンターがタイムコード表示に戻り、ゼロセットメモリー表示が消える。

撮る/見る

次のページへつづく→

4 PLAYボタンを押す。

「0:00:00」の場面からもう1度再生する。

ゼロセットメモリーを解除するには

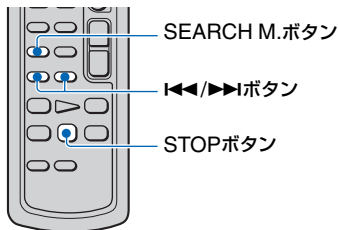
巻き戻す前にZERO SET MEMORYボタンをもう1度押す。

ご注意

- タイムコードとテープカウンターに多少誤差が生じることがあります。
- テープの途中に無記録部分があると、正しく働かないことがあります。

撮影日でテープを頭出しする(日付サーチ)

撮影日の変わり目を頭出しできます。

POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にして操作してください(21ページ)。

1 リモコンのSEARCH M.ボタンを押す。

2 ⏮(前の日付)/⏭(後の日付)ボタンを押して頭出しする。

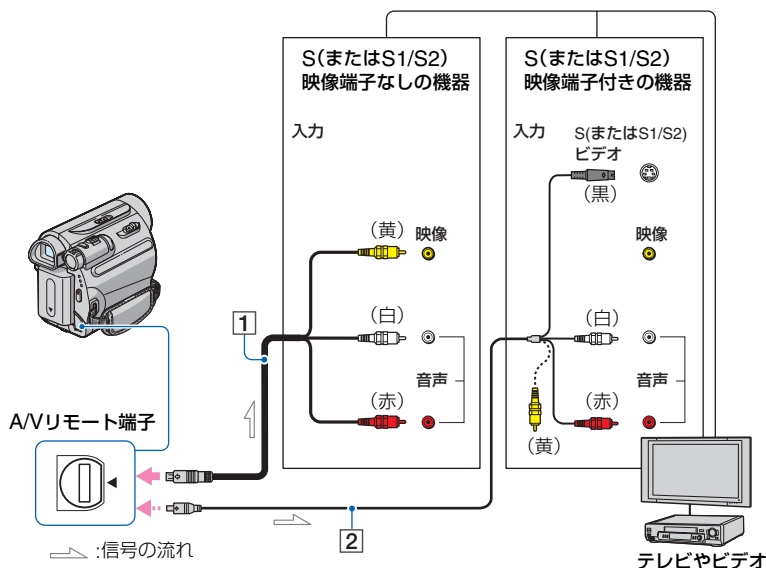
日付サーチを中止するには

STOPボタンを押す。

ご注意

- テープの途中に無記録部分があると、正しく働かないことがあります。

テレビで見る

本機とテレビやビデオをA/V接続ケーブル(1)、またはS映像ケーブル付きのA/V接続ケーブル(2)でつなぎます。テレビやビデオ側は入力端子につなぎます。本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください(8ページ)。また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 **A/V 接続ケーブル(付属)**

他機の入力端子につなぎます。

2 **S 映像ケーブル付きの A/V 接続ケーブル(別売り)**

S(またはS1/S2)映像端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、付属のA/V接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ(左右音声端子)とS映像プラグ(S映像端子)のみ接続し、黄色いプラグ(映像端子)は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

ご注意

- 本機はS1映像端子対応のため、つなぐ端子がSまたはS2映像端子のときは画像が正しく表示されない場合があります。その場合、テレビの設定を変更することで改善されることがあります。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ちょっと一言

- [画面表示出力]を[ビデオ出力/パネル]に設定すると、テレビ画面でタイムコードなどの情報を見ることができます(47ページ)。

次のページへつづく→

ビデオ経由でテレビにつなぐには

ビデオの外部入力端子につなぎ、ビデオに入力切り換えスイッチがある場合は「外部入力」（ビデオ１、ビデオ２など）に切り換える。

テレビ（ワイド/4:3）に合わせて画像の比率を変えるには

ご覧になるテレビに合わせて、再生時の画像の比率を設定してください。

① 本機の POWER スイッチを「PLAY/EDIT」にする。

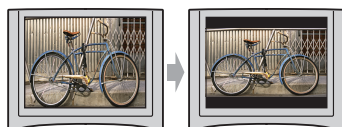
② P.メニュー →［メニュー］→ 基本設定→［TV タイプ］→［16:9］または［4:3］→ OK をタッチする。

ご注意

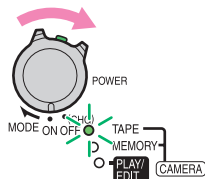
- ID-1/ID-2対応テレビやテレビのS（またはS1/S2）映像入力端子につないで再生する場合、［TVタイプ］を［16:9］に設定してください。テレビが自動的に再生画像の比率に切り替わります。
- ［TVタイプ］を［4:3］に設定したとき、またはワイド（16:9）と4:3の映像が切り替わるとき、画面が乱れることがあります。
- 一部の4:3テレビでは、4:3で撮影した静止画がテレビ画面いっぱいに表示されないことがありますが、故障ではありません。

- ワイド（16:9）画像をワイド信号非対応の4:3テレビでご覧になるときは［TVタイプ］を［4:3］に設定してください。

モノラルテレビ（音声端子がひとつ）のときは

A/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ（左音声）か赤いプラグ（右音声）のどちらかを音声入力へつなぐ。

メニューの使いかた

1 POWERスイッチを矢印の方向に繰り返しずらして、使用するモードの電源ランプを点灯させる。

「CAMERA-TAPE」ランプ：テープの設定
「CAMERA-MEMORY」ランプ：“メモリースティック デュオ”の設定
「PLAY/EDIT」ランプ：見る/編集の設定

2 液晶画面をタッチして、項目を設定する。

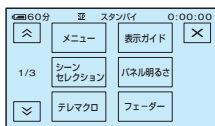
灰色に表示されるメニューは、使用できません。

■ パーソナルメニューのショートカットを使うときは

パーソナルメニューには、よく使うメニューへのショートカットが登録されています。

ちょっと一言

- パーソナルメニューはお好みの設定に変更できます（48ページ）。

① P.メニュー をタッチ。

② 希望の項目をタッチ。
画面にないときは、[⌃]/[⌄]をタッチして表示させる。
③ 希望の設定にして、OK をタッチ。

■ メニューを使うときは

パーソナルメニューに登録されていないメニュー項目も設定できます。

① P.メニュー→［メニュー］の順にタッチ。
② 設定するメニューを選ぶ。
[▲]/[▼]をタッチして選び、OK をタッチして決定する。（手順③も同様の操作です。）
③ 設定する項目を選ぶ。
設定する項目をタッチしても選べます。
④ 希望の設定にする。
設定し終わったら、OK→[×]（閉じる）の順にタッチして、メニュー画面を消す。
設定を変更しないで戻るときは、[↩]をタッチ。

■ かんたん操作中にメニューを使うときは

P.メニューは表示されません。［メニュー］をタッチして、メニュー項目を表示させてください。

メニュー一覧

ランプの点灯位置によって、使用可能(●)メニューが異なります。かんたん操作時は、下記の設定に自動設定されます(15ページ)。

	TAPE	MEMORY	PLAY/EDIT	かんたん操作時
カメラ設定メニュー(32ページ)				
シーンセレクション	●	●	–	オート
スポット測光	●	●	–	–
カメラ明るさ	●	●	–	オート
ホワイトバランス	●	●	–	オート
オートスローシャッター	●	–	–	入
スポットフォーカス	●	●	–	–
フォーカス	●	●	–	オート
テレマクロ	●	●	–	切
SUPER NSPLUS	●	–	–	切
NS ライト	●	●	–	入
COLOR SLOW S	●	–	–	切
セルフタイマー	●*1	●	–	●*2
デジタルズーム	●	–	–	切
手ブレ補正	●	–	–	入
メモリー設定メニュー(36ページ)				
静止画設定	–	●	●	切/ファイン/●
全消去	–	–	●	●
フォーマット	–	●	●	–
ファイルナンバー	–	●	●	連番
フォルダ作成	–	●	●	–
記録フォルダ選択	–	●	●	–*3
再生フォルダ選択	–	–	●	–*3
ピクチャーアプリメニュー(39ページ)				
フェーダー	●	–	–	切
スライドショー	–	–	●	–
デジタルエフェクト	●	–	●	切
ピクチャーエフェクト	●	–	●	切
スムーズインターバル録画	●	–	–	–
インターバル静止画記録	–	●	–	切
デモモード	●	–	–	入
PictBridge プリント	–	–	●	–
USB機能選択	–	–	●	●

	TAPE	MEMORY	PLAY/EDIT	かんたん操作時
編集/変速再生メニュー(43ページ)				
変速再生	–	–	●	–
録画操作	–	–	●	–
アフレコ操作	–	–	●	–
エンドサーチ操作	●	–	●	–
基本設定メニュー(45ページ)				
録画モード	●	–	●	SP
音声モード	●	–	–	12BIT
音量	–	–	●	●
音声ミックス	–	–	●	–
パネル･VF設定	●	●	●	–/ノーマル/ – /ノーマル
TVタイプ	●	●	●	– *3
USBカメラ	●	–	–	切
表示ガイド	●	●	●	●
ガイドフレーム	●	●	–	切
日時/カメラデータ表示	–	–	●	●
残量表示	●	–	●	オート
リモコン	●	●	●	入
操作音	●	●	●	●
画面表示出力	●	●	●	パネル
メニュー操作方向	●	●	●	–
自動電源オフ	●	●	●	5分後
キャリブレーション	–	–	●	–
時間設定メニュー(47ページ)				
日時あわせ	●	●	●	●
時差補正	●	●	●	– *3

*1 静止画撮影時のみ使用できます。
*2 POWERスイッチが「CAMERA-MEMORY」のときのみ表示されます。
*3 かんたん操作前の設定値が保持されます。

カメラ設定メニュー

撮影状況に合わせるための設定

▶は、お買い上げ時の設定。
(　)内の表示が画面に出ます。
操作方法は29ページをご覧ください。

シーンセレクション

場面に合わせて、効果的な画像で撮影できます。

▶オート
シーンセレクションを使わずに、自動的に効果的な画像になる。

夜景*( )
暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影できる。

キャンドル( )
キャンドルライトの雰囲気を損なわずに撮影できる。

日の出&夕焼け*( )
日の出や夕焼けなどを雰囲気たっぷりに表現する。

打ち上げ花火*( )
打ち上げ花火をきれいに撮影する。

風景*( )
遠景まではっきり撮影できる。ガラスや金網越しに撮るときも、向こうの被写体にピントが合うようになる。

ソフトポートレート( )
背景をぼかして、前にいる人物や花などをソフトに引き立てる。

スポットライト( )**
スポットライトを浴びている人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぐ。

スポーツレッスン( )**
動きの早い被写体のぶれを小さくする。

ビーチ( )**
照り返しの強い砂浜で、人物が陰にならなくする。

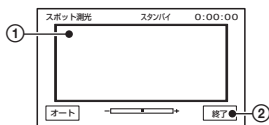
スノー( )**
ゲレンデなどの白い風景で、画面が暗く映るのを防ぎ、明るくする。

* 遠景のみにピントが合うように設定されます。
**近くのものにピントが合わないように設定されます。

ご注意

- [シーンセレクション]を設定すると[ホワイトバランス]の設定が解除されます。

スポット測光（フレキシブルスポット測光）

被写体が最適な明るさで映るように画面全体の明るさを調節し、固定できます。舞台上の人物の撮影など、被写体と背景のコントラストが強いときに使います。

① 画面枠内の明るさを調節したいポイントをタッチ。
　―――― が表示される。

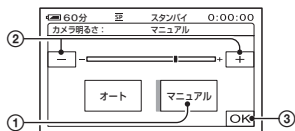
② [終了]をタッチ。

自動調節に戻すには、[オート]→[終了]をタッチ。

ご注意

- フレキシブルスポット測光中は、[カメラ明るさ]は自動的に[マニュアル]になります。

カメラ明るさ

画像の明るさを手動で固定できます。背景に比べて被写体が明るすぎたり暗すぎるときなどに調節します。

① [マニュアル]をタッチ。
　―――― が表示される。

② [－]/[＋]で明るさ調節。

③ [OK]をタッチ。

自動調節に戻すには、[オート]→[OK]をタッチ。

ご注意

- POWERスイッチを切り換えたり、[シーンセレクション]の設定を変更すると、明るさが変わることがあります。

ホワイトバランス

撮影する場面に合わせて色合いを調節できます。

▶**オート**

自動調節されます。

屋外（☀）

次の撮影環境に合った色合いになる。

– 屋外
– 夜景やネオン、花火など
– 日の出、日没など
– 昼光色蛍光灯の下

屋内（💡）

次の撮影環境に合った色合いになる。

– 屋内
– パーティー会場やスタジオなど照明条件が変化する場所
– スタジオなどのビデオライトの下、ナトリウムランプや電球色蛍光灯の下

ワンプッシュ（⊿▄⊿）

光源に合わせてホワイトバランスを固定する。

① [ワンプッシュ]をタッチ。

② 被写体を照らす照明条件と同じところに白い紙などを置き、画面いっぱいに映す。

③ [⊿▄⊿]をタッチ。
　⊿▄⊿が速い点滅に変わり、ホワイトバランスが調節される。終わると点灯に変わる。

メニューで設定を変更する

次のページへつづく→

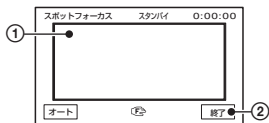
ご注意
- 白色や昼白色の蛍光灯下では、[オート]または[ワンプッシュ]にしてください。
- [ワンプッシュ]で設定するとき、の速い点滅中は、白いものを映し続けてください。
- の遅い点滅は、[ワンプッシュ]で設定できなかった場合を表します。
- [ワンプッシュ]で設定するとき、OK をタッチ後もが点滅するときは、[オート]にしてください。
- [ホワイトバランス]を設定すると、[シーンセレクション]の設定が[オート]になります。

ちょっと一言
- [オート]でバッテリーを交換したときや、[カメラ明るさ]設定時に屋内外を移動したときは、白っぽい被写体に向けて[オート]で約10秒間撮影すると、より良い色合いになります。
- [ワンプッシュ]設定中に、[シーンセレクション]の効果を変えたり、屋外と屋内を行き来したりしたときは、再び[ワンプッシュ]の手順を行ってください。

オートスローシャッター

[入]に設定すると、暗い場所で撮影するときに自動的に1/30までシャッタースピードが遅くなります。

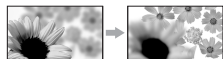
スポットフォーカス

画面中央から外れた被写体を基準にして、ピントを合わせられます。

① 画面枠内の被写体にタッチ。
が表示される。
② [終了]をタッチ。

自動ピント合わせに戻すには、[オート]→[終了]をタッチ。

ご注意
- スポットフォーカス中は、[フォーカス]が自動的に[マニュアル]になります。

フォーカス

手動でピントを合わせられます。ピントを合わせる被写体を意図的に変えるときにも使えます。

① [マニュアル]をタッチ。
が表示される。
② (近くにピント合わせ)/(遠くにピント合わせ)をタッチしてピント調節。それ以上近くにピントを合わせられないときは が、それ以上遠くにピントを合わせられないときは が表示される。
③ OK をタッチ。

自動ピント合わせに戻すには、[オート]→ OK をタッチ。

ご注意
- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。

ちょっと一言
- ピントは、始めにズームをT側(望遠)でピントを合わせてから、W側(広角)に戻してゆくと合わせやすくなります。接写時は、逆にズームをW側(広角)いっぱいにしてピントを合わせます。

テレマクロ

背景をぼかして、被写体をより際立たせることができます。花や昆虫など小さいものを撮るときに便利です。

[入]（T🌷）にするとズーム（19ページ）が自動で望遠（T側）になり、約38cmまでの近接撮影ができます。

解除するには、[切]をタッチ。またはズームを広角（W側）にする。

ご注意

- 被写体が遠いときはピントが合いにくく、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
- ピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください（[フォーカス]、34ページ）。

SUPER NSPLUS (Super NightShot plus)

あらかじめ、NIGHTSHOT PLUSスイッチ（19ページ）を「ON」にした状態で、[入]に設定すると、暗い場所でNightShot plusの最大16倍の感度で撮影できます。
S◉と["SUPER NIGHTSHOT PLUS"]が表示されます。

解除するには、[SUPER NSPLUS]を[切]、またはNIGHTSHOT PLUSスイッチを「OFF」にする。

ご注意

- NightShot plusと[SUPER NSPLUS]を明るい場所では使わないでください。故障の原因になります。
- 赤外線発光部を指などで覆わないでください（88ページ）。
- コンバージョンレンズ（別売り）ははずしてください。
- ピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください（[フォーカス]、34ページ）。
- シャッタースピードが明るさによって変わり、画像の動きが遅くなることがあります。

NS ライト（NightShot ライト）

[入]（お買い上げ時の設定）のとき、NightShot plus（19ページ）と[SUPER NSPLUS]（35ページ）撮影時に、赤外線（不可視）を発光する[NSライト]で、よりはっきりした画像を撮影できます。

ご注意

- 赤外線発光部を指などで覆わないでください（88ページ）。
- コンバージョンレンズ（別売り）ははずしてください。
- ライトが届く範囲は約3メートルです。

ちょっと一言

- 夜景や月明かりなどの薄暗い場所では、[切]にして撮影すると、被写体の色味を濃くできます。

COLOR SLOW S (Color Slow Shutter)

[入]に設定すると、薄暗い場所でも明るくカラーで撮影できます。
[◎]と[COLOR SLOW SHUTTER]が表示されます。

解除するには、[切]をタッチ。

ご注意

- ピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください（[フォーカス]、34ページ）。
- シャッタースピードが明るさによって変わり、画像の動きが遅くなることがあります。

セルフタイマー

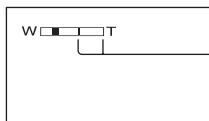
約10秒後に静止画が撮影されます。

[入]（⏲）のとき、PHOTOボタンを押す。
秒読みを停止するには[リセット]をタッチ。

解除するには、[切]をタッチ。

ちょっと一言
- リモコンのPHOTOボタンでも操作できます（91ページ）。

デジタルズーム

テープ撮影時に、25倍光学ズーム（お買い上げ時の設定）を超えてデジタルズームになったときの最大倍率を設定します。デジタル処理のため画質は劣化します。

ラインよりT側がデジタルズームになります。倍率を選ぶと表示されます。

▶**切**
25倍光学ズームのみ

50×
25倍光学ズーム～最大50倍までのデジタルズーム

2000×
25倍光学ズーム～最大2,000倍までのデジタルズーム

手ブレ補正

お買い上げ時の設定は[入]のため、手ブレ補正を使って撮影できます。コンバージョンレンズ（別売り）や三脚（別売り）を利用するときは、[切]（ ）にすると自然な画像になります。

メモリー設定メニュー

“メモリースティック　デュオ”に関する設定

▶は、お買い上げ時の設定。
（　）内の表示が画面に出ます。
操作方法は29ページをご覧ください。

静止画設定

■ 連写

PHOTOボタンを押したときに、静止画を連写できます。

▶**切**
連写しない。

ノーマル（ ）
約0.5秒間隔で静止画を連写する。PHOTOボタンを押したままにすると、最大枚数まで連写する。

4:3のとき
最大4枚（画像サイズは1.0M）、または最大13枚（画像サイズはVGA）の静止画を連写する。

16:9（ワイド）のとき
最大4枚の静止画（画像サイズは0.7M）を連写する。

ブラケット（BRK）
約0.5秒間隔に、露出を自動で変えた3枚の画像を連写する。3枚を見比べて明るさが最適な画像を選べる。

ご注意
- 「CAMERA-MEMORY」時のみ設定できます。
- かんたん操作時は設定できません。
- セルフタイマーやリモコンで撮影時は、最大枚数まで連写します。
- “メモリースティック　デュオ”の残量が3枚より少ないと、[ブラケット]は実行できません。

■ 画質

▶ファイン（FINE）
高画質で記録する。

スタンダード（STD）
標準の画質で記録する。

ご注意
- かんたん操作時は、[ファイン]に設定されます。

■ 画像サイズ

▶1.0M（1.0M）
比較的きれいな画像をたくさん撮影する。

VGA（0.3M）（VGA）
たくさんの枚数を撮影する。

ご注意
- 「CAMERA-MEMORY」時のみ設定できます。
- ワイド（16:9）に切り換えると画像サイズは[0.7M]に固定されます（20ページ）。

"メモリースティック　デュオ"の容量と撮影可能枚数（枚）

4:3のとき

	1.0M (1152×864) 1.0M	VGA (640×480) VGA
128MB	245 600	780 1970
256MB	445 1000	1400 3550
512MB	910 2050	2900 7300
1GB	1850 4250	6000 14500
2GB	3750 8600	12000 30000
4GB	7400 17000	23500 59500
8GB	15000 34000	48000 115000

ワイド（16:9）のとき

	0.7M (1152×648) 0.7M	0.2M (640×360) 0.2M *
128MB	325 780	980 1970
256MB	590 1400	1750 3550
512MB	1200 2900	3650 7300
1GB	2450 6000	7500 14500
2GB	5000 12000	15000 30000
4GB	9900 23500	29500 59500
8GB	20000 48000	60000 115000

* 「CAMERA-TAPE」時に"メモリースティック　デュオ"に静止画撮影したとき、画像サイズは[0.2M]に自動設定されます。メニューの[静止画設定]で[0.2M]は選択できません。

ご注意
- それぞれの数値は次の設定によるものです。
  上段：画質が[ファイン]のとき
  下段：画質が[スタンダード]のとき
- ソニー製"メモリースティック　デュオ"使用時。
  枚数は、撮影状況および記録メディアによって異なる場合があります。

次のページへつづく➡

全消去

プロテクトのかかっていない"メモリースティック　デュオ"内または選択フォルダ内の全画像を消します。

① [全ファイル]か[フォルダ内]を選ぶ。
[全ファイル]："メモリースティック　デュオ"内のすべての画像を消去。
[フォルダ内]：選択しているフォルダ内のすべての画像を消去。

② [はい]を2回→[X]をタッチ。

ご注意

- 誤消去防止スイッチのある"メモリースティック　デュオ"は、誤消去防止を解除する（75ページ）。
- 全消去しても、フォルダは消去されません。
- [全消去中です]が表示されているとき、次の操作はしないでください。
  – POWERスイッチ/ボタン操作
  – "メモリースティック　デュオ"の取り出し

フォーマット

"メモリースティック　デュオ"はお買い上げ時にフォーマット済みのため、フォーマットする必要はありません。

フォーマットを実行するには、[はい]を2回→[X]をタッチ。
フォーマットされて、すべての画像が消去されます。

ご注意

- [フォーマット中です]が表示されているとき、次の操作はしないでください。
  – POWERスイッチ/ボタン操作
  – "メモリースティック　デュオ"の取り出し
- 新しく作成したフォルダやプロテクトのかかっている画像もすべて消去されます。

ファイルナンバー

▶**連番**
"メモリースティック　デュオ"を取り換えても、ファイル番号を連続して付ける。フォルダを新しく作成、または記録先フォルダを変更した場合はリセットされる。

リセット
"メモリースティック　デュオ"ごとに、ファイル番号を0001から付ける。

フォルダ作成

"メモリースティック　デュオ"内に、新しいフォルダ（102MSDCF～999MSDCFまで）を作成できます。1つのフォルダが9,999枚になった時点で、自動的に作成された次の新しいフォルダに移ります。

[はい]→[X]をタッチ。

ご注意

- 1度作成した新しいフォルダは、本機で削除できません。"メモリースティック　デュオ"をフォーマットするか（38ページ）、パソコンなどで削除してください。
- フォルダが増えると、"メモリースティック　デュオ"の残量が減ることもあります。

記録フォルダ選択

[▼]/[▲]で記録するフォルダを選んで[OK]をタッチ。

ご注意

- お買い上げ時の設定では、ファイルは「101MSDCF」に記録されます。
- いったん画像を記録すると、そのとき選ばれている記録先フォルダが、再生フォルダに設定されます。

再生フォルダ選択

[▼]/[▲]で再生するフォルダを選んで[OK]をタッチ。

ピクチャーアプリメニュー

画像への特殊効果追加や、応用的な撮影/再生機能

▶は、お買い上げ時の設定。
(　)内の表示が画面に出ます。
操作方法は29ページをご覧ください。

フェーダー

場面間に、効果を入れながら、つなぎ撮りできます。

① スタンバイ中(フェードインのとき)、または撮影中(フェードアウトのとき)に使いたい効果を選んで、OKをタッチ。
[オーバーラップ]、[ワイプ]、[ドットフェーダー]を選ぶと、記憶中画面が青くなり、テープ上の画像が静止画として記憶される。

② REC START/STOPボタンを押す。
フェーダー表示が点灯に変わり、終了後消える。

操作開始前に解除するには手順①で「切」をタッチ。
1度REC START/STOPボタンを押すと設定は解除されます。

スタンバイ　　録画
フェードアウト　　フェードイン

ホワイトフェーダー

ブラックフェーダー

モザイクフェーダー

モノトーンフェーダー

フェードイン時は白黒→カラーに、フェードアウト時はカラー→白黒になる。

オーバーラップ(フェードインのみ)

ワイプ(フェードインのみ)

ドットフェーダー(フェードインのみ)

スライドショー

"メモリースティック　デュオ"内の全画像、またはフォルダ内の全画像を自動再生(スライドショー)できます。

① 設定→[再生フォルダ選択]をタッチ。
② [全ファイル(all)]か[フォルダ内(1)]を選び、OKをタッチ。
[フォルダ内(1)]を選ぶと、[再生フォルダ選択](38ページ)で選んだフォルダ内の画像を自動再生する。
③ [繰り返し設定]をタッチ。
④ [入]または[切]を選び、OKをタッチ。
[入](⟲)に設定すると、スライドショーを繰り返し、[切]に設定すると、スライドショーを1度だけで終了する。
⑤ [終了]→[スタート]をタッチ。

中止するには[終了]を、一時停止するには[ポーズ]をタッチ。

ちょっと一言

- [スタート]をタッチする前に、－/＋でスライドショーを始める画像を選べます。

デジタルエフェクト

演出を加えて画像を撮影したり、見たりできます。

① 設定する効果を選ぶ。

② [－]/[＋]で効果を調節して[OK]をタッチ。

効果	調節内容
スチル	背景の静止画の写り具合
フラッシュ	フラッシュの間隔
ルミキー	静止画部分の明るさ
トレイル	残像時間
スローシャッター*	シャッタースピード（1は1/30、2は1/15、3は1/8、4は1/4）
オールドムービー*	調節不要

* テープ撮影時のみ使えます。

③ [OK]をタッチ。
D✦が表示される。

解除するには［切］をタッチ。

▶切
デジタルエフェクトを使わない。

スチル
［スチル］をタッチしたときに記憶される静止画に、動画を重ねて撮影する。

フラッシュ（フラッシュモーション）
コマ送り撮影をする。

ルミキー（ルミナンスキー）
［ルミキー］を選択した瞬間の静止画の明るい部分に動画をはめ込んで撮影する。

トレイル
残像が尾を引くように撮影する。

スローシャッター
シャッタースピードが遅くなる。暗い場所での撮影向き。

オールドムービー
昔の映画のようなセピア色の画像にする。

ご注意
- ［スローシャッター］を設定しているときは、自動でピントが合いにくいため、三脚（別売り）などに固定して、手動でピントを合わせてください（［フォーカス］、34ページ）。
- ［オールドムービー］を設定しているとき、ワイド（16:9）切換はできません。
- 外部入力している画像に、効果を加えることはできません。
- i DV端子（i.LINK）で本機と他の機器を接続した場合、再生画像に加えた効果は出力されません。

ちょっと一言
- 効果を加えた画像を、“メモリースティック デュオ”に取り込んだり（53ページ）、他のビデオ/DVD機器などに録画したり（50ページ）できます。

ピクチャーエフェクト

特殊効果を加えて撮影したり、見たりできます。P✦が表示されます。

▶切
ピクチャーエフェクトを使わない。

ネガアート
ネガフィルムのような画像。

セピア
古い写真のような画像。

モノトーン
白黒の画像。

ソラリ
明暗がはっきりして、イラストのような画像。

パステル*
淡い色の画像。

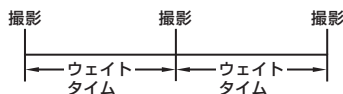
モザイク*
タイルを組み合わせたような画像。

* 再生中は設定できません。

ご注意
- 外部入力している画像に効果追加はできません。
- i DV端子(i.LINK)で本機と他の機器を接続した場合、再生画像に加えた効果は出力されません。

ちょっと一言
- 効果を加えた画像を、"メモリースティック デュオ"に取り込んだり(53ページ)、他のビデオ/DVD機器などに録画したり(50ページ)できます。

スムーズインターバル録画

一定時間ごとにテープへ1フレームずつ録画します。雲の動きや日照変化などを観測するときに便利です。再生するとなめらかに見えます。長時間撮影時は、付属のACアダプターから電源を取ってください。

① [設定]→[－]/[＋]で希望のウェイトタイム(1秒〜120秒)を選び、[OK]をタッチ。
② [録画スタート]をタッチ。
録画が始まり、●が赤に変わる。

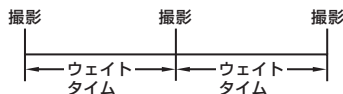
一時停止するには[録画ストップ]をタッチ、再開するには[録画スタート]をタッチ。
解除するには[録画ストップ]→[終了]をタッチ。

ご注意
- 録画中は数フレームを記録するごとに録画部分の最後をエンドサーチすることがあります。
- メッセージが表示されている間は電源を切ったり取りはずしたりしないでください。
- 撮影開始と終了時は数フレーム録画されます。
- 撮り始めてから約12時間経過すると自動で解除されます。
- 音声は記録されません。
- バッテリー切れやテープ切れになると最後の数フレームが記録されないことがあります。
- ウェイトタイムは、少し誤差が出ることがあります。

ちょっと一言
- 手動でピントをあわせておくと、光が変化してもぼやけずに録画できます([フォーカス]、34ページ)。
- 撮影時の記録音は、[操作音]で消すことができます(47ページ)。

インターバル静止画記録

一定時間ごとに"メモリースティック デュオ"へ静止画を記録します。雲の動きや日照変化などを定点観測撮影時に便利です。

メニューで設定を変更する

① [設定]→希望のウェイトタイム(1分、5分、10分)→[OK]→[入](ⓘ)→[OK]→[✕]をタッチ。
② PHOTOボタンを深く押す。
ⓘが点滅から点灯に変わり、インターバル静止画記録が始まる。

解除するには[切]にする。

デモモード

お買い上げ時の設定は[入]のため、カセットと"メモリースティック デュオ"両方を取り出し、POWERスイッチを「CAMERA-TAPE」にすると約10分後に本機の機能のデモンストレーションを見ることができます。

ちょっと一言
- 次のいずれかを行うと、デモンストレーションを中断できます。
  – デモンストレーション中に画面をタッチ(約10分後に再開します)。
  – カセットか"メモリースティック デュオ"を入れる。
  – POWERスイッチを「CAMERA-TAPE」以外にする。

PictBridge プリント

55ページをご覧ください。

USB 機能選択

USBケーブルで本機とパソコンをつないで、パソコンで画像を見たり、PictBridge対応のプリンターと接続するときに使います。

パソコン接続メモリースティック
"メモリースティック デュオ"に記録した画像をパソコンで見たり、パソコンに取り込むときに選択します。詳しくは付属のCD-ROM収録の「ファーストステップガイド」をご覧ください。

PictBridge プリント
本機とPictBridge対応のプリンターを直接つないで、プリントするときに選択します(55ページ)。

パソコン接続ストリーム
テープに記録した動画をパソコンで見るときに選択します。

ご注意
- かんたん操作時、[パソコン接続ストリーム]は設定できません。

編集/変速再生メニュー

編集/変速再生の設定

操作方法は29ページをご覧ください。

変速再生

テープの動画再生時に変速再生できます。

① 再生中に、下記のボタンをタッチ。

再生方法	タッチするボタン
逆方向に再生*	◀II<（コマ送り）
スロー再生**	スロー I▶ 逆方向には： ◀II<（コマ送り）→ スロー I▶
倍速再生	×2（倍速再生） 逆方向には： ◀II<（コマ送り）→ ×2（倍速再生）
コマ送り	一時停止中に >II▶（コマ送り） 逆方向へはコマ送り中に：◀II<（コマ送り）

* 画面上下や中央に横じまが入ることがありますが、故障ではありません。

** i DV端子（i.LINK）から出力される画像は、なめらかにスロー再生されません。

② ↩ → ✕ をタッチ。

通常再生に戻すには、▶ II（再生/一時停止）を2回タッチ（「コマ送り」は1回）。

ご注意

- 音声は出ません。また、映像がモザイク状に残ることがあります。

録画操作

52ページをご覧ください。

アフレコ操作

内蔵ステレオマイク（88ページ）を使ってテープに録画したビデオ（音声モード12BIT（45ページ））に、撮影時の音声を消すことなく、メッセージや説明などを、追加録音（アフレコ）できます。

ご注意

- 次のときは、アフレコできません。
  - 16BITモード（45ページ）で録画されたテープ
  - LPモードで録画されたテープ
  - i.LINKケーブルがつながれている
  - 他機で4CHマイク記録したテープ
  - テープの無記録部分
  - 異なるTVカラーシステムで録画されたテープ（73ページ）
  - カセットが誤消去防止状態（74ページ）
  - HDV記録部分
- アフレコするとき、A/Vリモート端子から映像は出力されません。映像は液晶画面またはファインダーで確認してください。
- 本機で録画したテープにアフレコしてください。他のビデオ（本機以外のDCR-HC62を含む）で録画したテープにアフレコすると音質が劣化することがあります。

アフレコする

あらかじめ、本機に録画したカセットを入れておいてください。

① POWER スイッチを「PLAY/EDIT」にする。

② ▶ II（再生 / 一時停止）をタッチして再生し、アフレコを開始する場面で、▶ II をもう１度タッチして一時停止する。

③ P.メニュー→[メニュー]→編集/変速再生→OK→[アフレコ操作]→OK→[アフレコ]をタッチ。

●IIが表示

④ ►II(再生)をタッチ。
内蔵ステレオマイクで録音をスタートします。
●マークが表示されて、画像を再生しながら、音声がステレオ2に追加して記録される。

⑤ 止めたいところで ■ (停止)をタッチ。
他にもアフレコする場合は、手順②で画面を選び、[アフレコ]をタッチ。

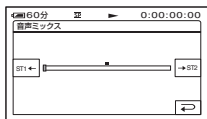
⑥ ↩→✕をタッチ。

ちょっと一言

- アフレコする終了点を決めるには、あらかじめ再生中に、終了したい場面でリモコンのZERO SET MEMORYボタンを押しておきます。手順②から④を行うと自動的に録音が止まります。

アフレコした音声を確認する

① アフレコしたテープを再生する(21ページ)。

② P.メニュー→[メニュー]→基本設定→OK→[音声ミックス]→OKをタッチ。

③ ST1←/→ST2で撮影時の音声(ST1:ステレオ1)とアフレコした音声(ST2:ステレオ 2)の音声バランスを調整し、OKをタッチ。

ご注意

- お買い上げ時は、ステレオ1の音のみが出る設定になっています。

エンドサーチ操作

実行
最後に撮影した場面の約5秒間が再生され、自動的に止まる。

中止
エンドサーチを中止する。

ご注意

- カセットを取り出すと、エンドサーチ操作はできなくなります。

基本設定メニュー

テープ撮影時の設定や、各種基本設定

▶は、お買い上げ時の設定。
（　）内の表示が画面に出ます。
操作方法は29ページをご覧ください。

録画モード

▶SP（SP）
テープへSP（標準）モードで録画する。

LP（LP）
テープへSPモードの1.5倍の録画時間で長時間録画する。

ご注意

- LPモードで録画したテープを他機で再生すると、モザイク状のノイズが現れたり、音声が途切れたりすることがあります。
- テープの途中でSP/LPモードを切り換えると、画像が乱れたり、タイムコードが正しくつながらないことがあります。

音声モード

▶12BIT
テープへ12ビット（2つのステレオ音声）で記録する。

16BIT（♪16b）
テープへ16ビット（高音質で1つのステレオ音声）で記録する。

音量

21ページをご覧ください。

音声ミックス

44ページをご覧ください。

パネル・VF 設定

設定を変更しても録画される画像に影響ありません。

■ パネル明るさ

液晶画面の明るさを調節できます。

① [－]/[＋]で調節する。
② [OK]をタッチ。

■ パネルバックライトレベル

液晶画面バックライトの明るさを調節できます。

▶ **ノーマル**
通常の設定（標準の明るさ）。

明るい
画面が暗いと感じたときに選ぶ。

ご注意

- コンセントにつないで使うと、設定は自動的に［明るい］になります。
- ［明るい］を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

■ パネル色のこさ

[－]/[＋]で液晶画面の濃さを調節できます。

薄くなる　　濃くなる

■ VFバックライト

ファインダーの明るさを調節できます。

▶ **ノーマル**
通常の設定（標準の明るさ）。

明るい
ファインダーが暗いと感じたときに選ぶ。

ご注意

- コンセントにつないで使うと、設定は自動的に［明るい］になります。
- ［明るい］を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

TV タイプ

28ページをご覧ください。

USB カメラ

[パソコン接続ストリーム]に設定して、本機とパソコンをUSBケーブルでつなぐと、本機が撮影している画像をパソコンの画面で見ることができ、ライブカメラのように使用することができます。
カメラの画像をパソコンに取り込むこともできます。詳しくは、付属のCD-ROMに収録されている「ファーストステップガイド」をご覧ください（61ページ）。

表示ガイド

94ページをご覧ください。

ガイドフレーム

[入]にすると、フレームを表示して、被写体が水平、垂直になっているかを確認できます。
フレームは記録されません。DISP/BATT INFOボタンを押すとフレームを消せます。

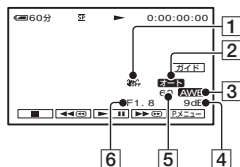
ちょっと一言
- ガイドフレームの交差点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。

日時 / カメラデータ表示

撮影時に自動的に記録された情報（日時やカメラデータ）を再生時に表示できます。

▶切
日時やカメラデータを表示しない。

日付時刻データ
日付、時刻を表示。

カメラデータ（下記）
カメラデータを表示。

1 手ブレ補正
2 明るさ調節
3 ホワイトバランス
4 ゲイン
5 シャッタースピード
6 絞り値

ご注意
- “メモリースティック　デュオ”の静止画再生時は、露出補正値（0EV）とシャッタースピード、絞り値が表示されます。
- [日付時刻データ]のときは、同じエリアに日時が表示されます。日時、時刻を設定せずに撮影すると、[---- -- --]と[--:--:--]が表示されます。
- かんたん操作時は、メニュー名が[日時/カメラデータ表示]から[日時データ表示]に変わり、[日付時刻データ]のみ設定できます。

残量表示

▶オート
次のときにテープ残量を約8秒間表示する。
- カセットが入った状態でPOWERスイッチを「PLAY/EDIT」か「CAMERA-TAPE」にしたとき
- ▶ II（再生/一時停止）をタッチしたとき

入
テープ残量を常に表示する。

リモコン

お買い上げ時の設定は[入]のため、付属のワイヤレスリモコン（91ページ）が使えます。

ちょっと一言
- [切]に設定すると、他機のリモコンによる誤動作を防げます。

時間設定メニュー

操作方法は29ページをご覧ください。

操作音

▶入
撮影スタート/ストップ時、タッチパネルでの操作時などにメロディが鳴る。

切
操作音、シャッター音を出さない。

画面表示出力

▶パネル
タイムコードなどの画面表示を液晶画面とファインダーに出す。

ビデオ出力/パネル
画面表示をテレビ画面、液晶画面、ファインダーに出す。

メニュー操作方向

▶ノーマル
[▲]をタッチするとメニュー項目が下に回転する。

逆方向
[▲]をタッチするとメニュー項目が上に回転する。

自動電源オフ

▶5分後
何も操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れる。

なし
自動的に電源は切れない。

ご注意
- コンセントにつないで使うと自動的に[なし]になります。

キャリブレーション

80ページをご覧ください。

日時あわせ

11ページをご覧ください。

時差補正

海外で使うときは、[－]/[＋]で時差を設定し、現地時刻に合わせる。
時差を0に設定すると元の設定に戻る。

パーソナルメニューを変更する

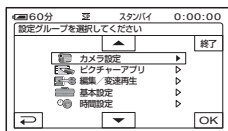
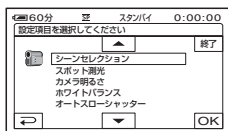
希望のメニュー項目を、電源ランプの位置ごとに、パーソナルメニューに登録できます。よく使う項目を登録しておくと便利です。

項目を追加する

電源ランプの位置ごとに、最大28項目まで登録できます。登録数がいっぱいのときは、不要な項目を削除してください。

1 [P.メニュー]→[P.メニュー設定]→[追加]をタッチ。

画面にないときは、[⌃]/[⌄]をタッチして表示させる。

2 [▲]/[▼]で設定項目を選び、[OK]をタッチ。

3 [▲]/[▼]で項目を選び、[OK]→[はい]→[X]をタッチ。

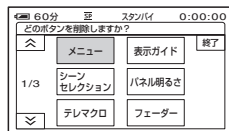
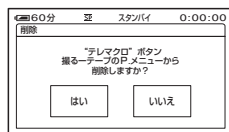
項目がパーソナルメニューの最後に追加される。

項目を削除する

1 [P.メニュー]→[P.メニュー設定]→[削除]をタッチ。

画面にないときは、[⌃]/[⌄]をタッチして表示させる。

2 削除する項目をタッチ。

3 [はい]→[X]をタッチ。

ご注意

- [メニュー]と[P.メニュー設定]は削除できません。

表示位置を並べ替える

1 [P.メニュー]→[P.メニュー設定]→[並べ替え]をタッチ。

画面にないときは、[⌃]/[⌄]をタッチして表示させる。

2 移動する項目をタッチ。

3 [▲]/[▼]で項目を移動する。

4 [OK]をタッチ。

続けて並べ替えるときは手順**2**～**4**を行う。

5 [終了]→[X]をタッチ。

ご注意

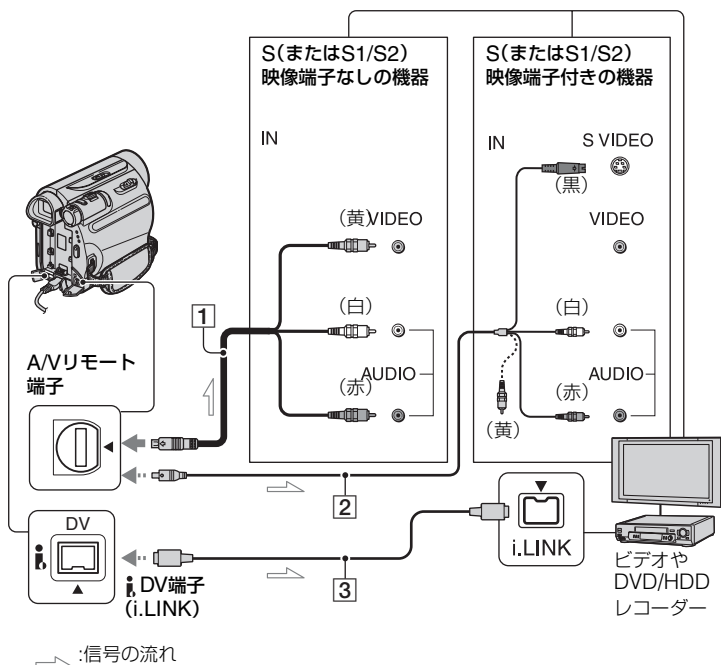
- [P.メニュー設定]は並べ替えられません。

お買い上げ時の設定に戻す（リセット）

[P.メニュー]→[P.メニュー設定]→[リセット]→[はい]→[はい]→[X]をタッチ。

画面にないときは、[⌃]/[⌄]をタッチして表示させる。

ビデオ、DVD/HDDレコーダーへダビングする

本機と他のビデオ、DVD/HDDレコーダーを接続すると、本機の画像を他のディスクやビデオテープへダビングできます。
本機と他のビデオ、DVD/HDDレコーダーをA/V接続ケーブル（1）、S映像ケーブル付きのA/V接続ケーブル（2）、i.LINKケーブル（3）のいずれかのケーブルでつなぎます。本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください（8ページ）。また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

:信号の流れ

1 A/V 接続ケーブル（付属）

他機の入力端子につなぎます。

2 S 映像ケーブル付きの A/V 接続ケーブル（別売り）

S（またはS1/S2）映像端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、付属のA/V接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ（左右音声端子）とS映像プラグ（S映像端子）のみ接続し、黄色いプラグ（映像端子）は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

3 i.LINK ケーブル（別売り）

i.LINK端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、デジタル信号でやり取りするため、劣化がほとんどない映像/音声を楽しめます。映像または音声のみの記録はできません。

ご注意

- 本機はS1映像端子対応のため、つなぐ端子がSまたはS2映像端子のときは画像が正しく表示されない場合があります。その場合、テレビの設定を変更することで改善されることがあります。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 接続先のビデオ、DVD/HDDレコーダーがモノラルの場合は、A/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ（左音声）または赤いプラグ（右音声）を音声入力へつなぎます。
- A/V接続ケーブルでつなぐときは、[画面表示出力]を[パネル]（お買い上げ時の設定）にしてください（47ページ）。
- i.LINKケーブルを使って他の機器に信号を送っているときはDVOUT i.LINK が本機の液晶画面に表示されます。

1 本機（再生側）の準備をする。

撮影済みのカセットを入れ、POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。

2 ビデオは録画用カセット、DVDレコーダーは録画用DVDを入れる。

入力切り換えスイッチがある場合は「入力」（ビデオ1、ビデオ2入力など）にする。

3 本機と録画側の機器（ビデオ、DVD/HDDレコーダー）を、A/V接続ケーブル（1、付属）、S映像端子付きA/V接続ケーブル（2、別売り）、i.LINKケーブル（3、別売り）のいずれかのケーブルでつなぐ。

録画側の機器の入力端子につなぐ。

4 本機で再生を始め、録画側の機器で録画を始める。

詳しくは、録画側の機器の取扱説明書をご覧ください。

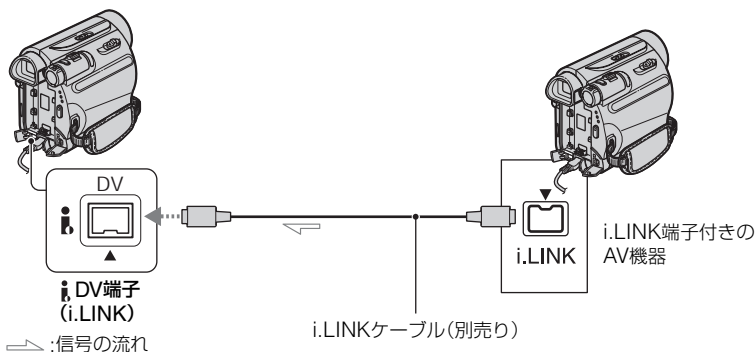
5 ダビングが終わったら、録画側の機器の録画を停止し、本機の再生を停止する。

ご注意

- A/V接続ケーブルでつなぐときは、再生機器（テレビなど）に合わせて、[TVタイプ]を設定してください（28ページ）。
- A/V接続ケーブルでつないで日時やカメラデータなどをダビングしたいときは、それらを表示させてください（46ページ）。
- i DV端子（i.LINK）接続では、次のものは録画されません。
  - 画面表示
  - [ピクチャーエフェクト]（40ページ）/[デジタルエフェクト]（40ページ）/再生ズーム（23ページ）を加えた画像
- i.LINKケーブル接続時は、再生一時停止中の画像を録画すると、画像が粗くなることがあります。
- i.LINKケーブル接続時は、機器やアプリケーションなどによっては日時やカメラデータが表示、記録されないことがあります。

ビデオなどの画像を本機で録画する

別売りのi.LINKケーブルを使って、ビデオなどの動画を本機のテープに録画したり、静止画として"メモリースティック　デュオ"に記録したりできます。あらかじめ、本機に録画用テープまたは"メモリースティック　デュオ"を入れておいてください。
本機とビデオ、i.LINK対応機器などをi.LINKケーブル（別売り）でつなぎます。本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください（8ページ）。また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意
- ビデオなどにi.LINK端子がない場合は本機で録画できません。

i.LINKケーブルで接続すると、デジタル信号でやり取りするため、劣化がほとんどない映像/音声を楽しめます。映像または音声のみの記録はできません。

動画を録画する

1 本機とビデオなどをi.LINKケーブルでつなぐ。

2 再生側にダビングするカセットを入れる。

3 本機のPOWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。

4 本機で録画操作する。

P.メニュー→［ 録画操作］→［録画ポーズ］をタッチ。

5 再生機でカセットの再生を始める。

再生側の画像が本機の液晶画面に映る。

6 録画を開始したい画面で［録画スタート］をタッチ。

7 **録画を止める。**

[■](停止)または[録画ポーズ]をタッチ。

8 **[↩]→[×]をタッチ。**

静止画を記録する

1 **「動画を録画する」の手順1〜3を行う。**

2 **再生機でカセットの再生を始める。**

再生側の画像が本機の液晶画面に映る。

3 **記録したい場面でPHOTOボタンを軽く押し、画像を確認したら深く押す。**

ご注意

- i.LINKケーブルを使って他の機器から信号を受け取っているときは DVIN i.LINK が本機の液晶画面に表示されます。(接続側の画面にも表示されることもあります)。

テープの画像を"メモリースティック　デュオ"に取り込む

テープに録画した動画からお好みの場面を静止画として"メモリースティック　デュオ"に記録できます。あらかじめ録画済みのテープと"メモリースティック　デュオ"を入れておいてください。

1 **POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。**

2 **場面を探して、取り込む。**

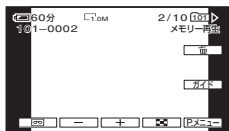
[►II](再生)をタッチしてテープを再生し、取り込む場面でPHOTOボタンを軽く押し、画面を確認して深く押す。

ご注意

- テープに記録したときの日時と"メモリースティック　デュオ"に取り込んだときの日時が記録されます。本機では、テープに記録したときの日時が表示されます。テープに記録されたカメラデータは記録できません。
- 再生している画像がワイド(16:9)のときは静止画もワイド(0.2Mサイズ)で、4:3のときは4:3(VGA(0.3M)サイズ)で記録されます。

“メモリースティック　デュオ”の画像を消す

1 POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。

2 [メモリー]をタッチ。

3 [−]/[＋]で削除する画像を表示させる。

4 [🗑]→[はい]をタッチ。

ご注意
- いったん削除した画像は元に戻せません。
- “メモリースティック　デュオ”が誤消去防止になっているとき（75ページ）やプロテクトされている画像（55ページ）は削除できません。

ちょっと一言
- すべての画像を消去するには、メニューの［ 全消去］（38ページ）で削除します。
- インデックス表示画面（22ページ）で、[設定]→［🗑削除］→削除する画像→[OK]→［はい］をタッチしても画像を削除できます。6枚ずつ画像を一覧できるので、消す画像を簡単に探せます。

“メモリースティック　デュオ”の画像にマークをつける

（プリントマーク / プロテクト）

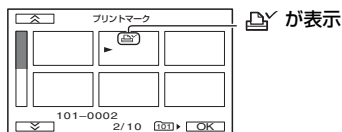
誤消去防止スイッチ付きの“メモリースティック　デュオ”のときは、あらかじめ誤消去防止を解除してください（75ページ）。

静止画にプリント用のマークを付ける（プリントマーク）

本機はプリントする画像を選択できるDPOF（Digital Print Order Format）規格に対応のため、マークを付けると、プリント時に選び直す必要がありません（プリント枚数は指定できません）。

1 POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。

2 [メモリー] → ▦ → [設定] →［プリントマーク］をタッチ。

3 プリントマークを付ける画像をタッチ。

4 [OK]→［終了］をタッチ。

ご注意
- プリントマークをはずすには、手順**3**で、はずす画像をもう1度タッチ。

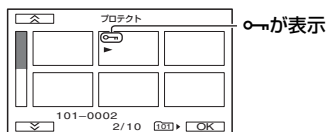
- 他機でプリントマークを付けた画像が"メモリースティック　デュオ"に入っているときに本機でプリントマークを付けると、他機でプリントマークをつけた画像の情報が変更される場合があります。

記録した画像を保護する（プロテクト）

画像に誤消去防止（プロテクト）指定できます。

1 POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。

2 メモリー→ →設定→[プロテクト]をタッチ。

3 プロテクトする画像をタッチ。

4 OK→[終了]をタッチ。

ご注意
- プロテクトをはずすには、手順**3**ではずす画像をもう1度タッチ。

記録した画像を印刷する

（PictBridge 対応プリンター）

PictBridge対応のプリンターを使えば、本機で撮影した静止画をパソコンなしで印刷できます。

PictBridge

付属のACアダプターを使って、電源はコンセントから取ってください（8ページ）。あらかじめ、本機に静止画を記録した"メモリースティック　デュオ"を入れて、プリンターの電源を入れてください。

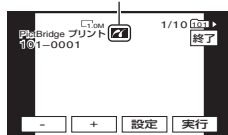
本機とプリンターを接続する

1 本機のPOWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。

2 USBケーブルで (USB)端子（89ページ）とプリンターをつなぐ。

液晶画面に自動で[USB機能選択]が表示される。

3 [PictBridge プリント]をタッチ。

本機とプリンターの接続が完了すると画面に （PictBridge接続中）が表示される。

"メモリースティック　デュオ"に記録されている画像が表示される。

ご注意

- PictBridge規格未対応機器との接続は、動作保証いたしません。

ちょっと一言

- 次の順番で操作しても同じです。
  - [P.メニュー]→[メニュー]→ ピクチャーアプリ→[USB機能選択]→[PictBridge プリント]をタッチ。
  - [P.メニュー]→[メニュー]→ ピクチャーアプリ→[PictBridge プリント]をタッチ。

印刷する

1 [－]/[＋]で印刷する画像を選ぶ。

2 [設定]→[印刷部数]をタッチ。

3 [－]/[＋]で印刷部数を設定する。

1枚の静止画で最大20枚まで印刷部数を設定できる。

4 [OK]→[終了]をタッチ。

日時を入れて印刷するには、[設定]→[日付/時刻]→[年月日]または[日時分]→[OK]をタッチ。

5 [実行]→[はい]をタッチ。

印刷が完了すると[プリント中です]の表示が消え、画像選択画面に戻る。

印刷終了後、[終了]をタッチ。

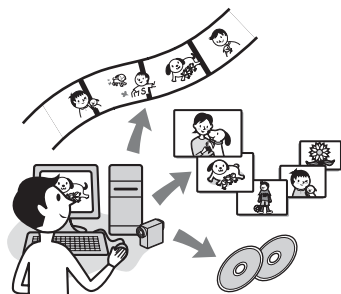
ご注意

- プリンターの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 画面に が表示中に次の操作をすると、正常な処理が行われません。
  - POWERスイッチを切り換える。
  - 電源ケーブルをはずす。
  - 本機またはプリンターからUSBケーブルを抜く。
  - 本機から“メモリースティック デュオ”を抜く。
- プリンターが動作しなくなった場合は、USBケーブルを抜いてプリンターの電源を入れ直してから、操作をやり直してください。
- プリンターによっては画像の上下左右が切れる場合があります。特にワイド(16:9)のときは、左右が大きく切れる場合があります。
- プリンターによっては、日時印刷に対応していないものがあります。プリンターの取扱説明書をご覧ください。
- 本機以外の機器で撮影した画像の印刷に関しては保証いたしません。
- PictBridge(ピクトブリッジ)とは、カメラ映像機器工業会(CIPA)で制定された統一規格のことです。メーカーや機種に関係なく、ビデオカメラやデジタルスチルカメラを直接プリンターに接続し、パソコンを使わずに画像を印刷できます。

Windowsパソコンでできること

付属のCD-ROMからWindowsパソコンに、「Picture Motion Browser」をインストールすると、次のような操作を楽しむことができます。

ご注意

- 付属のソフトウェア「Picture Motion Browser」はMacintoshに対応していません。

主な機能

■ 本機で記録した画像を取り込む・見る

撮影した日付ごとに管理でき、サムネイル表示から選んで見ることができます。拡大表示やスライドショーでの再生もできます。

■ 取り込んだ画像を編集する

動画のカット編集や静止画の加工ができます。

■ 取り込んだ動画を本機に書き戻す

パソコンに取り込んだ動画を本機のテープに書き戻すことができます。

「ファーストステップガイド」について

「ファーストステップガイド」はパソコンで見ることができるマニュアルです。本機とパソコンの接続や初期設定から、CD-ROM(付属)に含まれているソフトウェア「Picture Motion Browser」を初めて使うときに必要な基本操作までを説明しています。

「「ファーストステップガイド」をインストールする」(59ページ)をご覧になりながらインストールしたあとに、「ファーストステップガイド」を起動して手順に従ってください。

ソフトウェア付属のヘルプのご案内

ソフトウェアのすべての機能を説明しています。「ファーストステップガイド」で操作の概要を理解したうえで、さらに詳しい操作方法を知りたいときは、ヘルプをご覧ください。

ヘルプを見るには、画面上の[?]マークをクリックしてください。

パソコン環境について

「Picture Motion Browser」を使うときのパソコン環境

対応OS: Microsoft Windows 2000 Professional SP4/Windows XP SP2*/Windows Vista*
*64bit版は除きます。
上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。
上記のOS内でもアップグレードした場合やマルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。

CPU: Intel Pentium Ⅲ 800MHz以上

必要なソフトウェア: DirectX 9.0c以降(DirectXテクノロジに対応しておりますので、ご使用の際はDirectXが組み込まれている必要があります。)

サウンドカード: Direct Sound対応のサウンドカード

メモリー: 256MB以上

ハードディスク:
インストールに必要なディスク容量:約350MB

ディスプレイ: 解像度は1024×768ドット以上

その他必要な装置: USB端子標準装備(Hi-Speed USB(USB2.0準拠)対応を推奨)、DV端子(IEEE1394、i.LINK接続時)、ディスクドライブ(インストールにはCD-ROMドライブが必要)

"メモリースティック　デュオ"の画像をパソコンで見るときのパソコン環境

対応OS: Microsoft Windows 2000 Professional SP4/Windows XP SP2*/Windows Vista*
*64bit版は除きます。
上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。
上記のOS内でもアップグレードした場合は動作保証いたしません。

その他必要な装置: USB端子標準装備

ご注意
- その他、各OSが求める動作環境を満たしていることが必要です。
- すべてのパソコン環境についての動作を保障するものではありません。
例えば、バックグランドで動作している他のソフトウェアが動作に影響を与える場合があります。
- ノートパソコンをご使用の場合、パソコンをACアダプターにつないでご使用ください。パソコンの省電力機能により、正常に動作しない場合があります。

ちょっと一言
- パソコンにメモリースティック　スロットがある場合は、画像を保存した"メモリースティック　デュオ"をメモリースティック　デュオ　アダプター(別売り)に入れてから、パソコンのメモリースティック　スロットに差し込んで画像を取り込むこともできます。
- "メモリースティック　PRO　デュオ"をお使いの際にパソコンが"メモリースティック　PRO　デュオ"に対応していない場合は、パソコンのメモリースティック　スロットを使用せずに本機をUSBケーブルでつないでください。

「ファーストステップガイド」やソフトウェアをインストールする

本機をパソコンにつなぐ前に、「ファーストステップガイド」とソフトウェアをインストールします。1度インストールすれば、次回からインストールは不要です。
パソコンのOSによってインストールする内容や手順が異なります。

ちょっと一言
- Macintoshをお使いのときは、61ページをご覧ください。

「ファーストステップガイド」をインストールする

1 パソコンに本機がつながれていないことを確認する。

2 パソコンの電源を入れる。

ご注意
- Administrator権限/コンピューターの管理者でログオンしてください。
- 使用中のアプリケーションは、インストールの前に終了させておいてください。

3 パソコンのディスクドライブにCD-ROM(付属)をセットする。

インストール画面が表示される。

インストール画面が表示されないときは

① [スタート]→[マイ コンピュータ]の順にクリックする。(Windows 2000の場合は、[マイ コンピュータ]をダブルクリックする。)

② [SONYPICTUTIL (E:)](CD-ROM)* をダブルクリックする。

*ドライブ文字((E:)など)は、使うパソコンによって異なることがあります。

4 「ファーストステップガイド」をクリックする。

5 プルダウンメニューで[日本語]とお使いの機種名を選ぶ。

6 [ファーストステップガイド(HTML)]をクリックする。

インストールが始まります。
完了すると、「保存を完了しました。」が表示されます。[OK]をタッチして終了します。

PDF形式の「ファーストステップガイド」を見るには

手順**6**で、[ファーストステップガイド(PDF)]をクリックする。

PDFを見るためのソフトウェア「Adobe Reader」をインストールするには

手順**6**で、[Adobe(R) Reader(R)]をクリックする。

パソコンとつなぐ

ソフトウェアをインストールする

1 「「ファーストステップガイド」をインストールする」（59ページ）の手順1～3を行う。

2 ［インストール］をクリックする。

3 ［日本語］を選び、［次へ］をクリックする。

4 お住まいのエリア、国/地域を確認し、［次へ］をクリックする。

5 ［使用許諾契約］の内容をよく読み、同意される場合は［使用許諾契約の全条項に同意します］を選択し、［次へ］をクリックする。

6 表示された指示に従って、ソフトウェアをインストールする。

お使いの環境により、以下のインストール画面が表示された場合は、画面の指示に従ってインストールする。

■ i-Jumpエンジン V.3.5
画像を携帯電話やパソコンに送ることができるソフトウェア

■ Microsoft DirectX 9.0c
動画を扱うために必要なソフトウェア

パソコンの再起動を求める画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動する。

デスクトップ画面に（Picture Motion Browser）などのショートカットが表示されます。

7 パソコンからCD-ROMを取り出す。

「ファーストステップガイド」を見る

「ファーストステップガイド」は、Microsoft Internet Explorer Ver.6.0以上で見ることをおすすめします。
デスクトップのお使いの機種名の「ファーストステップガイド(HTML)」アイコンをダブルクリックする。

ちょっと一言

- [スタート]→[プログラム](Windows XPをお使いのかたは[すべてのプログラム])→[Sony Picture Utility]→[ファーストステップガイド]→お使いの機種名のフォルダ→HTML形式の「ファーストステップガイド」を選んで、「ファーストステップガイド」を起動させることもできます。
- 「ファーストステップガイド」を自動インストールせずにHTML形式でご覧になる場合は、CD-ROMの[FirstStepGuide]にある言語フォルダをパソコンにコピーし、[index.html]をダブルクリックしてください。
- 次のときはお使いの機種名の「ファーストステップガイド(PDF)」をご覧ください。
  - 「ファーストステップガイド」の必要な部分を印刷したい
  - ブラウザの設定により、推奨環境でも正常に表示されない
  - HTML形式で自動インストールできない

サポートのご案内

パソコンとの接続方法など

http://www.sony.co.jp/cam/support/

付属ソフトウェア(Picture Motion Browser)について

http://www.sony.co.jp/support-disoft/

Macintoshをお使いのときは

Macintoshでは、"メモリースティック デュオ"の静止画を取り込むことができます。
ここでは、CD-ROM(付属)に含まれている「ファーストステップガイド」をインストールします。

ご注意

- 付属のソフトウェア「Picture Motion Browser」はMac OSに対応していません。
- 本機とパソコンとの接続や静止画の取り込み方法について詳しくは、「ファーストステップガイド」をご覧ください。

パソコン環境について

"メモリースティック デュオ"の画像をパソコンで取り込むときのパソコン環境

対応OS: Mac OS 9.1/9.2/Mac OS X (v10.1/v10.2/v10.3/v10.4)

その他必要な装置: USB端子標準装備

「ファーストステップガイド」について

「ファーストステップガイド」はパソコンで見ることができるマニュアルです。本機とパソコンの接続や初期設定から、静止画の取り込み方法など、初めて使うときに必要な基本操作までを説明しています。
「「ファーストステップガイド」をインストールする」をご覧になりながらインストールしたあとに、「ファーストステップガイド」を起動して手順に従ってください。

「ファーストステップガイド」をインストールする

CD-ROMの「FirstStepGuide」フォルダの中の「FirstStepGuide.pdf」をコピーする。

次のページへつづく→

「ファーストステップガイド」を見る

「FirstStepGuide.pdf」をダブルクリックする。
PDFを見るためのソフトウェアがパソコンにインストールされていない場合は、下記のホームページからAdobe Readerをダウンロードしてください。
http://www.adobe.co.jp/

サポートのご案内

パソコンとの接続方法など
http://www.sony.co.jp/cam/support/

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口（裏表紙）にお問い合わせください。

全体操作/かんたん操作/リモコンについて

電源が入らない。

- 充電されたバッテリーを取り付ける（8ページ）。
- ACアダプターをコンセントに差し込む（8ページ）。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源（バッテリーまたはACアダプターの電源コード）を取りはずし、約1分後に電源を取り付け直す。
- RESET（リセット）ボタン（89ページ）を先のとがったもので押す。（パーソナルメニュー項目以外のすべての設定が解除される。）

ボタンが操作できない。

- かんたん操作中は使えるボタンが限られます（16ページ）。

かんたん操作にすると、設定が変わる。

- かんたん操作に切り換えると、画面に表示されない項目は初期設定に戻る。（15、30ページ）。

メニュー項目の設定が変わってしまう。

- 次の設定は、電源を「OFF (CHG)」にして12時間以上経つと、自動的にお買い上げ時の設定に戻ります。
  – 逆光補正
  – [シーンセレクション]
  – [スポット測光]
  – [カメラ明るさ]
  – [ホワイトバランス]
  – [スポットフォーカス]
  – [フォーカス]
  – [音声ミックス]

本体があたたかくなる。

- 本機使用中に本体があたたかくなることがありますが、故障ではありません。

付属のワイヤレスリモコンが操作できない。

- [リモコン]を[入]にする（46ページ）。
- リモコンと本機リモコン受光部の間にある障害物を取り除く。
- 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていると、リモコン操作できないことがある。
- 電池を交換する。電池の＋極と－極を正しく入れる（81ページ）。

リモコン操作中にほかのビデオが誤動作する。

- ビデオのリモコンスイッチをVTR2以外のモードに切り換える。
- 黒い紙でビデオのリモコン受光部をふさぐ。

次のページへつづく➡

バッテリー/電源について

電源が途中で切れる。

- お買い上げ時の設定では、操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れる（自動電源オフ）。[自動電源オフ]の設定を変更する（47ページ）か、もう1度電源を入れる（11ページ）、またはACアダプターを使用する。
- バッテリーが消耗している、または消耗間近。バッテリーを充電する（8ページ）。

バッテリーの充電中、CHG（充電）ランプが点灯しない。

- POWERスイッチを「OFF (CHG)」にする（8ページ）。
- バッテリーを正しく取り付け直す（8ページ）。
- コンセントにプラグを正しく差し込む。
- すでに充電が完了している（8ページ）。

バッテリーの充電中、CHG（充電）ランプが点滅する。

- バッテリーを正しく取り付け直す（8ページ）。それでも点滅するときは、故障のおそれがあるため、コンセントからプラグを抜き、ソニーの相談窓口に問い合わせる（裏表紙）。

バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不充分。故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときは、寿命のため、新しいバッテリーに交換する（8、77ページ）。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。液晶画面を開閉したときは正しい残量時間を表示するまで約1分かかります。

バッテリーの消耗が早い。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不充分。故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも消耗が早いときは、寿命のため、新しいバッテリーに交換する（8、77ページ）。

液晶画面/ファインダーについて

タッチパネルをタッチすると、画面が波打ったようになる。

- 故障ではありませんが、液晶画面を強く押さないでください。

画面表示を消すことができない。

- [i] を消すことはできません。[i] をタッチしてお知らせメッセージを確認する（71ページ）。

タッチパネルのボタンが表示されない。

- 液晶画面を軽くタッチする。
- DISP/BATT INFOボタン（またはリモコンのDISPLAYボタン）を押す（89、91ページ）。

タッチパネルのボタンが操作できない/正しく操作できない。

- タッチパネルを調節（[キャリブレーション]）する（80ページ）。

メニュー項目が灰色で表示される。

- その撮影/再生条件では選択できません。

[P.メニュー]が表示されない。

- かんたん操作中は使用可能なメニューが限られます。かんたん操作を解除する（16ページ）。

ファインダーの画像がはっきりしない。

- 視度調整つまみを画像がはっきり見えるように動かす（12ページ）。

ファインダーの画像が消えている。

- 液晶画面を閉じる。液晶画面が開いているとファインダーには画像は映りません（12ページ）。

カセット/“メモリースティック　デュオ”について

カセットが取り出せない。

- 電源（バッテリーやACアダプター）が正しく接続されているか確認する（8ページ）。
- 本機が結露しかけている（79ページ）。

カセットメモリー付きカセットで、カセットメモリー表示やタイトル表示が出ない。

- 本機は、カセットメモリーに対応していないため、表示されません。

テープ残量表示が出ない。

- 常に表示させたいときは、[OO 残量表示]を[入]にする（46ページ）。

テープの巻き戻し、早送り時の音が大きい。

- ACアダプター使用時は、バッテリー使用時より高速になるため音が大きくなります。故障ではありません。

テープの画像を削除できない。

- テープの画像は削除できません。新たに撮影する場合は、テープを巻き戻し、録画を開始すると上書きで記録される。

“メモリースティック　デュオ”を入れても操作を受け付けない。

- POWERスイッチを「CAMERA-MEMORY」または「PLAY/EDIT」にする（18、21ページ）。
- パソコンでフォーマットした“メモリースティック　デュオ”を入れている場合は、本機でフォーマットし直す（38ページ）。

“メモリースティック　デュオ”の画像消去、フォーマットができない。

- 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック　デュオ”は、誤消去防止を解除する（75ページ）。
- プロテクトを解除する（55ページ）。
- インデックス表示で1度に消せる画像は100枚までです。

プロテクト、プリントマークが実行できない。

- 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック　デュオ”は、誤消去防止を解除する（75ページ）。
- インデックス表示にしてから、プロテクト、プリントマークを実行し直す（22、54ページ）。
- プリントマークは1,000枚以上付けられません。

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う（75ページ）。

撮影について

「カセット/“メモリースティック　デュオ”について」（65ページ）もご覧ください。

REC START/STOPボタンを押しても、テープが走行しない。

- POWERスイッチを「CAMERA-TAPE」にする（17ページ）。
- テープが最後まで行っている。巻き戻すか、新しいカセットを入れる。
- カセットの誤消去防止ツマミをRECにする。または新しいカセットを入れる（74ページ）。

次のページへつづく➡

- 結露でテープがヘッドドラムに貼り付いている。カセットを取り出して、約1時間してから入れ直す(79ページ)。

"メモリースティック　デュオ"に記録できない。

- "メモリースティック　デュオ"の空き容量がない。新しい"メモリースティック　デュオ"を入れるか、フォーマットする(38ページ)。または不要な画像を削除する(54ページ)。
- [スムーズインターバル録画]中は、静止画を記録することはできません(41ページ)。

画角が異なって見える。

- 本機の状態によっては画角が異なって見える場合があります。故障ではありません。

テープできれいにつなぎ撮りできない。

- エンドサーチする(24ページ)
- カセットを取り出さない(電源を切ってもきれいにつなぎ撮りできます)。
- 同じテープにSPとLPの両モードを混ぜてつなぎ撮りしない。
- LPモードでつなぎ撮りしない。

エンドサーチができない。

- 撮影後にカセットを取り出さない(24ページ)。
- カセットを入れてからエンドサーチするまでに、1回も撮影していない。
- テープの始めや途中に無記録部分があるためで、故障ではありません。

スムーズインターバル録画が停止する。[スムーズインターバル録画はエラーにより途中終了しました]と表示されて、録画が停止した。

- ビデオヘッドが汚れている可能性がある。別売りのクリーニングカセットできれいにしてください(79ページ)。
- 最初からやり直す。
- ソニー製ミニDVカセットを使う。

オートフォーカスができない。

- [フォーカス]を[オート]にする(34ページ)。
- オートフォーカスが働きにくい状態のときは、手動でピントを合わせる(34ページ)。

[手ブレ補正]ができない。

- [手ブレ補正]を[入]にする(36ページ)。

逆光補正ができない。

- 次の設定にすると、逆光補正は解除されます。
  – [カメラ明るさ]の[マニュアル]
  – [スポット測光]
- かんたん操作中は、逆光補正ができません(16ページ)。

ろうそくの火やライトなどを暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る。

- 背景とのコントラストが強い被写体のときに出る現象で、故障ではありません。

明るい被写体を映すと、縦に尾を引いたような画像になる。

- スミア現象と呼ばれるもので、故障ではありません。

画面に白や赤、青、緑の点が出ることがある。

- ［オートスローシャッター］、［スローシャッター］、［SUPER NSPLUS］または、［COLOR SLOW S］のときに出る現象で、故障ではありません。

画像の色が正しくない。

- NightShot plusを解除する（19ページ）。

画面が白すぎて画像が見えない。

- NightShot plus（19ページ）、逆光補正（20ページ）を解除する。

画像がちらつく（フリッカー）。

- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で、［ソフトポートレート］や［スポーツレッスン］モードで撮影するとこのような症状が現れることがありますが、故障ではありません。

テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- ［手ブレ補正］を［切］にする（36ページ）。

レンズカバーが開いているのに［レンズカバーが閉まっている可能性があります 確認してください］と表示される。

- 画面が暗い、または手などでレンズをふさいでいる。

［SUPER NSPLUS］ができない。

- NIGHTSHOT PLUSスイッチが「ON」になっていない（19ページ）。

［COLOR SLOW S］が正しくできない。

- まったく光のない場所では、［COLOR SLOW S］が正しく働かないときがあるため、NightShot plusまたは［SUPER NSPLUS］で撮影する。

再生について

「カセット/"メモリースティック　デュオ"について」（65ページ）もご覧ください。

テープ再生ができない。

- POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする（21ページ）。
- テープを巻き戻す（21ページ）。

"メモリースティック　デュオ"の画像データが再生できない。

- パソコンでフォルダやファイル名を変更、または画像加工すると、再生できない場合があります（ファイル名が点滅）。故障ではありません（76ページ）。
- 他機で撮影した画像は、再生できなかったり、正しいサイズで表示されないことがあります。故障ではありません（76ページ）。

画像に横線が入る、画像がぼけたり、映らなかったりする。

- ビデオヘッドが汚れているので、別売りのクリーニングカセットできれいにする（79ページ）。

音声が小さい。または聞こえない。

- 音量を大きくする（21ページ）。
- ［音声ミックス］を最適な音声になるまで調節する（44ページ）。
- S映像プラグだけでつないでいるため。A/V接続ケーブルの白と赤のプラグもあわせてつなぐ（27ページ）。

音声が途切れる。

- ビデオヘッドが汚れているので、別売りのクリーニングカセットできれいにする（79ページ）。

次のページへつづく➡

[－ － －]が表示される。

- 日付時刻を設定しないで録画したテープを再生している。
- テープの無記録部分を再生している。
- テープに傷やノイズがあると、日時やカメラデータを読めません。

画面上に♪4ch-12bと表示される。

- 他機で4CHマイク記録されたテープを再生している。本機は4CHマイク記録には対応していません。

日付サーチが正しく操作できない。

- 日付を変更したときは、2分以上撮影する。撮影時間が短いと正しく検出されない場合があります。
- テープの始めや途中に無記録部分があると、日付サーチが正しく働かないことがあります。
  故障ではありません。

ダビング、編集、外部機器接続について

つないだ機器（外部入力）の映像が拡大できない。

- 外部入力している画像は本機でズームできません。

つないだ機器の画面にタイムコードなどが表示される。

- A/V接続ケーブルを使って接続するときは、メニューの[画面表示出力]を[パネル]にする（47ページ）。

A/V接続ケーブルを使ってダビングができない。

- A/V接続ケーブルが正しくつながれていない。
  本機の画像を他機へダビングする場合は他機の入力端子へつながれているか確認する（50ページ）。

アフレコした音声が聞こえない。

- [音声ミックス]を最適な音声になるまで調節する（44ページ）。

つないだ機器の映像が表示されない。

- 入力信号がNTSCではないため（73ページ）。

テープから“メモリースティック　デュオ”へ静止画を取り込めない。

- 繰り返しダビングしているなど記録状態の悪いテープは、静止画記録できなかったり、乱れた画像が記録されたりすることがあります。

パソコンとの接続について

本機がパソコンに認識されない。

- 「Picture Motion Browser」をインストールする（59ページ）。
- 本機とパソコンを初めてつないだときは、認識に時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください。
- キーボード、マウス、本機以外で、パソコンのψ（USB）端子につながれている他の機器を取りはずす。
- パソコンと本機からケーブルを抜き、パソコンを再起動させてから、正しい手順でもう1度パソコンと本機をつなぐ。

Macintoshで付属のソフトウエア「Picture Motion Browser」が使えない。

- 「Picture Motion Browser」はWindowsにしかインストールできません。

同時に使えない機能一覧

機能によっては一緒に使えないものがあります。下表は、同時に使えない機能やメニュー項目の例です。

使えない機能	以下の設定時
逆光補正	打ち上げ花火、スポット測光、カメラ明るさ
シーンセレクション	NightShot plus、テレマクロ、オールドムービー、SUPER NSPLUS、COLOR SLOW S
キャンドル、打ち上げ花火、スポーツレッスン	POWERスイッチが「CAMERA-MEMORY」のとき
スポット測光	NightShot plus、SUPER NSPLUS
カメラ明るさ	NightShot plus、SUPER NSPLUS
ホワイトバランス	NightShot plus、SUPER NSPLUS
スポットフォーカス	シーンセレクション
テレマクロ	シーンセレクション、テープ撮影中
SUPER NSPLUS	フェーダー、デジタルエフェクト
COLOR SLOW S	NightShot plus、シーンセレクション、SUPER NSPLUS、フェーダー、デジタルエフェクト
デジタルズーム	テレマクロ
フェーダー	キャンドル、打ち上げ花火、SUPER NSPLUS、COLOR SLOW S、デジタルエフェクト
デジタルエフェクト	キャンドル、打ち上げ花火、SUPER NSPLUS、COLOR SLOW S、フェーダー
オールドムービー	ピクチャーエフェクト、シーンセレクション

警告表示とお知らせメッセージ

自己診断表示/警告表示

液晶画面またはファインダーに、次のように表示されます。
お客様自身で対応できる場合でも、2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、ソニーの相談窓口（裏表紙）にお問い合わせください。

C:（またはE:）□□:□□（自己診断表示）

C:04:□□

- "インフォリチウム"バッテリーHシリーズ以外のバッテリーが使われている。必ず"インフォリチウム"バッテリーHシリーズを使う（76ページ）。
- ACアダプターのDCプラグを本機のDC IN端子にしっかりつなぐ（8ページ）。

C:21:□□

- 結露している。カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す（79ページ）。

C:22:□□

- ビデオヘッドが汚れている。別売りのクリーニングカセットできれいにする（79ページ）。

C:31:□□/C:32:□□

- 上記以外の症状になっている。カセットを入れ直し、もう1度操作し直す。ただし、本機が結露気味のときは、この操作をしないでください（79ページ）。
- 電源をいったん取りはずし、取り付け直してからもう1度操作し直す。
- カセットを交換する。リセットボタン（89ページ）を押してからもう1度操作し直す。

E:61:□□/E:62:□□

- 修理が必要なため、ソニーの相談窓口（裏表紙）にご連絡いただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。

101-1001（ファイル関連の警告）

- ファイルが壊れている。
- 扱えないファイル（75ページ）。

（バッテリー残量に関する警告）

- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約5～10分でも警告表示が点滅することがある。

（結露の警告）*

- カセットを取り出し、電源をはずして、カセット入れを開けたまま、約1時間放置する（79ページ）。

（"メモリースティック　デュオ"関連の警告）

- "メモリースティック　デュオ"が入っていない（14ページ）。

（"メモリースティック　デュオ"フォーマット関連の警告）*

- "メモリースティック　デュオ"が壊れている。
- "メモリースティック　デュオ"が正しくフォーマットされていない（38、75ページ）。

（非対応"メモリースティック　デュオ"関連の警告）*

- 本機では使えない"メモリースティック　デュオ"を入れた（75ページ）。

(テープ関連の警告)

遅い点滅

- テープ残量が5分を切った。
- カセットが入っていない。*
- カセットが誤消去防止状態になっている(74ページ)。*

速い点滅

- テープが終わっている。*

≜(テープを取り出す必要がある警告)*

遅い点滅

- カセットが誤消去防止状態になっている(74ページ)。

速い点滅

- 結露している(79ページ)。
- 自己診断表示が表示されている(70ページ)。

(画像消去に関する警告)*

- 画像が消去できないようになっている(55ページ)。

(“メモリースティック　デュオ”誤消去防止に関する警告)*

- “メモリースティック　デュオ”が誤消去防止状態になっている(75ページ)。

(手ブレ警告)

- 手ブレが起こりやすくなっているので、本機を両手でしっかりと固定して撮影する。ただし、手ブレマークは消えません。

* 警告表示が出るときに、「操作音」が鳴ります(47 ページ)。

お知らせメッセージの例

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

ちょっと一言

- [OK]が表示されているときにタッチすると、メッセージが[ⓘ]になることがあります。[ⓘ]をタッチすると、再びメッセージが表示されます。

≜結露しています
カセットを取り出してください
(79ページ)

結露しています
約1時間放置してください(79ページ)

≜カセットを入れなおしてください(13ページ)

- テープの損傷などがないかも確認する。

≜カセットの誤消去防止ツマミを確認してください(74ページ)

メモリースティックを入れなおしてください(14、75ページ)

- “メモリースティック　デュオ”を2、3回入れ直す。それでも表示されるときは“メモリースティック　デュオ”が壊れている可能性があるので交換する。

このメモリースティックはフォーマットが違います

- “メモリースティック　デュオ”のフォーマットを確認し、必要ならばフォーマットする(38、75ページ)。

困ったときは

メモリースティックのフォルダがいっぱいです

- 作成できるフォルダは、999MSDCFまでです。本機でフォルダ消去はできません。
- フォーマットするか(38ページ)、パソコンで不要なフォルダを消去する。

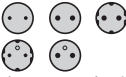
接続先を確認してください

- プリンターの電源を入れなおし、USBケーブルをいったん抜いてからもう1度つなぐ。

プリントできません　プリンターを確認してください

- プリンターの電源を入れなおし、USBケーブルをいったん抜いてからもう1度つなぐ。

海外で使う

電源について

本機は、海外でも使えます。
付属のACアダプターは、全世界の電源（AC100V～240V、50/60Hz）で使えます。また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。
電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

カラーテレビ方式について

テレビで再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC、下記参照）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）と接続ケーブルが必要です。

テレビ方式がNTSCの国、地域（五十音順）

アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコ など

時差補正機能ついて

海外で使うとき、時間設定メニューの［時差補正］を選ぶと、時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせられます（47ページ）。

使用上のご注意とお手入れ

ビデオカセットについて

本機はDV方式のビデオカメラレコーダーです。本機は、ミニDVカセットのみ使えます。
Mini DV マーク付きカセットを使ってください。
本機は、カセットメモリー機能には非対応です。

無記録部分を作らないために

次のときは、撮影の前にエンドサーチ（24ページ）を行って撮影終了位置に戻します。

- テープを再生したとき
- エディットサーチを使った場合

著作権保護信号について

■ **再生するとき**

本機で再生されるカセットに著作権保護のための信号が記録されている場合には、他機をつないで本機の画像を記録するとき、記録が制限されることがあります。

■ **記録するとき**

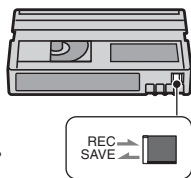
著作権保護のための信号が記録されている映像音声は本機で記録することはできません。このような映像音声を記録しようとすると、液晶画面またはファインダーに[コピープロテクトされています　記録できません]が表示されます。なお、ビデオカメラで撮影した画像には、著作権保護のための信号は記録されません。

取り扱い上のご注意

■ **長い間使わないときは**

本機からカセットを取り出して保管してください。

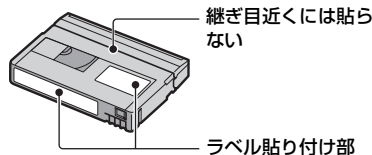
■ **間違って消さないために**

カセットの背にある誤消去防止ツマミをSAVEの矢印のほうへずらします。

REC：録画できる。
SAVE：録画できない。
（誤消去防止状態）

■ **ラベルは指定の位置に**

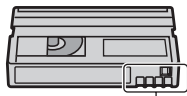
カセットにラベルは、指定の位置に正しく貼ってください。指定以外の位置に貼ると故障の原因になります。

継ぎ目近くには貼らない

ラベル貼り付け部

■ **カセットの使用後は**

必ずテープを巻き戻してください（画像や音声が乱れる原因となります）。巻き戻したテープはケースに入れ、立てて保管してください。

■ **金メッキ端子のお手入れ**

カセットの金メッキ端子が汚れたり、ゴミが付着したりすると、テープ残量表示などが正しく表示されないことがあります。
カセットの取り出し回数10回を目安にして、綿棒でカセットの金メッキ端子をクリーニングしてください。

“メモリースティック”について

“メモリースティック”（“Memory Stick”）は小さくて軽い大容量のIC記録メディアです。
“メモリースティック”のうち、本機で使えるのは次の表のとおりです。ただし、すべての“メモリースティック”の動作を保証するものではありません。

“メモリースティック”の種類	記録/再生
メモリースティック デュオ（マジックゲート対応）	○
メモリースティック PRO デュオ	○
メモリースティック PRO-HGデュオ	○

- 本機はパラレルインターフェースを利用した高速データ転送に対応しておりません。
- 本機はマジックゲート機能を使ったデータの記録/再生に対応していません。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。
- 本機は“メモリースティック マイクロ”（“M2”）に対応しています。“M2”は“メモリースティック マイクロ”の略称です。
- 静止画の圧縮形式：本機は、静止画データをJPEG（Joint Photographic Experts Group）方式で圧縮/記録しています。ファイル拡張子は「.JPG」です。
- パソコン（Windows OS/Mac OS）でフォーマット（初期化）した“メモリースティック デュオ”は、本機での動作を保証いたしません。
- お使いの“メモリースティック デュオ”と機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。
- 誤消去防止スイッチ付き“メモリースティック デュオ”では、先の細いものでスライドさせて、「LOCK」にすると、記録されているデータを誤って消去しないようにできます。
- 次の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償については、ご容赦ください。
  – 画像ファイルを読み込み中や、“メモリースティック デュオ”にデータを書き込み中（アクセスランプが点灯中および点滅中）に、“メモリースティック デュオ”を取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使った場合
- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- “メモリースティック デュオ”本体およびメモリースティック デュオ アダプターにラベルなどは貼らないでください。
- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック デュオ”に付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲みこむおそれがあります。
- メモリースティック デュオ スロットには、“メモリースティック デュオ”以外は入れないでください。故障の原因となります。
- 次の場所での使用や保管は避けてください。
  – 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  – 直射日光のあたる場所
  – 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

次のページへつづく➡

■ メモリースティック デュオ アダプターの使用について

- “メモリースティック デュオ”を“メモリースティック”対応機器でお使いの場合は、必ず“メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れてからお使いください。
- “メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご確認のうえ、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと正常に動作しない場合があります。また、逆向きで無理に入れると、メモリースティック デュオ アダプターが破損し、故障の原因となります。
- メモリースティック デュオ アダプターに“メモリースティック デュオ”が装着されない状態で、“メモリースティック”対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

■ “メモリースティック PRO デュオ”についてのご注意

- 本機で動作確認されている“メモリースティック PRO デュオ”は8GBまでです。

■ “メモリースティック マイクロ”使用上のご注意

- “メモリースティック マイクロ”を本機でお使いの場合は、必ず“メモリースティック マイクロ”をデュオサイズのM2アダプターに入れてからお使いください。デュオサイズのM2アダプターに装着されていない状態で挿入されると、“メモリースティック マイクロ”が取り出せなくなる可能性があります。
- “メモリースティック マイクロ”は、小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。

画像の互換性について

- 本機は（社）電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”に対応しています。
- 統一規格に対応していない機器（DCR-TRV900、DSC-D700/D770）で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 他機で使用した“メモリースティック デュオ”が本機で使えないときは、38ページの手順にしたがい、本機でフォーマット（初期化）をしてください。フォーマットすると“メモリースティック デュオ”に記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- 次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
  – パソコンで加工した画像データ
  – 他機で撮影した画像データ

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて

本機は“インフォリチウム”バッテリー（Hシリーズ）のみ使用できます。それ以外のバッテリーは使えません。“インフォリチウム”バッテリーHシリーズには InfoLITHIUM H SERIES マークがついています。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは？

“インフォリチウム”バッテリーは、本機や別売りのACアダプター/チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。
“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。

充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10〜30℃の範囲で、CHG（充電）ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。
- 本機にACアダプターをつないで充電する場合は、充電終了後は、ACアダプターを本機のDC IN端子から抜き、バッテリーを取りはずしてください。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
  - バッテリーをポケットなどに入れてあたたかくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける。
  - 高容量バッテリー「NP-FH70/FH100(別売り)」を使う。
- 液晶画面の使用や再生/早送り/巻き戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。
  高容量バッテリー「NP-FH70/FH100(別売り)」のご使用をおすすめします。
- 本機で撮影や再生中は、こまめにPOWERスイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2〜3倍の予備バッテリーを準備して、事前にためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。
- バッテリー残量時間が約5〜10分でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告する マークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、 基本設定メニューで[自動電源オフ]を[なし]に設定し、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください(47ページ)。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

i.LINK(アイリンク)について

本機のDV端子はi.LINKに準拠したDV端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

i.LINKとは?

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。
i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

その他

ご注意

- i.LINKケーブルで本機と接続できる機器は通常１台だけです。複数接続できるDV対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

- i.LINK（アイリンク）はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
- IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、次の3種類があります。

S100（最大転送速度　約100Mbps*）
S200（最大転送速度　約200Mbps）
S400（最大転送速度　約400Mbps）

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。
最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbps とは？

「Mega bits per second」の略で「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

他のDV端子付きビデオとつないでダビングする方法については50、52ページをご覧ください。
また、本機はビデオ機器以外のソニー製i.LINK（DV端子）対応機器（パーソナルコンピューターVAIOシリーズなど）とも接続してご使用になれます。
なお、デジタルテレビ、DVD、MICROMV、HDVなどの映像機器には、i.LINK端子を搭載しながらも、DV機器とは対応できない仕様のものがあります。接続の際はあらかじめDV対応の有無をご確認ください。
接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションソフトの有無などについては、接続する機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

ご注意

- i.LINK端子を持つ機器と本機をi.LINK接続する場合は、あらかじめ機器の電源を切って電源プラグをコンセントから抜いた状態で、i.LINKケーブルを抜き差ししてください。

必要なi.LINKケーブル

ソニー製i.LINKケーブルを使ってください。
4ピン↔4ピン（DVダビング時）

本機の取り扱いについて

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
  炎天下や熱器具の近く、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
  故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
  正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
  雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やファインダー、レンズが太陽に向いたままとなる場所（窓際や室外など）
  液晶画面やファインダー内部を傷めます。

■ **長期間使用しないときは**

- 3分間ほど再生するなどして、ときどき電源を入れてください。
- バッテリーは使い切ってから、保管してください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起こると、[結露 カセットを取り出してください]または[結露しています 約1時間放置してください]と警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。

■ 結露が起きたときは

カセットは直ちに取り出してください。警告表示が出ている間は、OPEN/EJECTつまみ以外は働きません。

電源を切ってカセットカバーを開けたまま、結露がなくなるまで(約1時間)放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押してもやが点滅しなければ使えます。

結露気味のときは、本機が結露を検出できないことがあります。このようなときは、カセットカバーを開けてから約10秒間カセットが出てこないことがありますが、故障ではありません。

カセットが出てくるまでカセットカバーを閉めないでください。

■ 結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

■ 結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

ビデオヘッドについて

大切な録画の前には、クリーニングテープのご使用をおすすめします。

- ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかったり、ノイズの多い再生画像になったり、音声が途切れたりします。
- 次のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットDVM-12CLDを10秒間使ってヘッドをきれいにしておきましょう。
  – 再生画面に次のような四角いノイズが出る、または青１色の画面になる。

  – 再生画面の一部が動かない。
  – 再生画像が出ない、または音声が途切れる。
  – 録画中に[ヘッドが汚れています クリーニングカセットを使ってください]が表示される。
  – 再生中に[ヘッドが汚れているか、正常に録画できていません。クリーニングカセットのご使用をおすすめします]が表示される。
- ビデオヘッドは長時間使うと摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、異常ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

次のページへつづく→

■ お手入れ

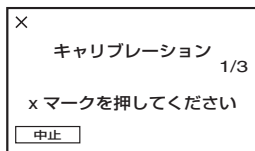
液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などで拭いてください。別売りの液晶クリーニングキットを使うときは、クリーニングリキッドを直接液晶画面にかけず、必ずクリーニングペーパーに染み込ませて使ってください。

■ タッチパネルの調節（キャリブレーション）について

タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じることがあります。このような症状になったときは、次の操作を行ってください。
電源は付属のACアダプターを使ってコンセントから取ることをおすすめします。

① POWER スイッチを「PLAY/EDIT」にする。

② P.メニュー →［メニュー］→ 基本設定 →［キャリブレーション］→ OK をタッチ。
画面が 4:3 のときは、ワイド（16:9）に切り替わります。

×
キャリブレーション
1/3
x マークを押してください
中止

③ "メモリースティック　デュオ"の角のような先の細いものを使って、画面に表示される×マークを押す。
×マークの位置は変わります。

解除するには［中止］をタッチ。
正しい位置を押さなかった場合、やり直しになります。

ご注意

- 液晶画面を外側に向けたときは、キャリブレーションできません。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、次のことは避けてください。
  – シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類の使用。
  – 上記が手に付いたまま本機を扱う。
  – ゴムやビニール製品との長時間接触。

レンズのお手入れと保管について

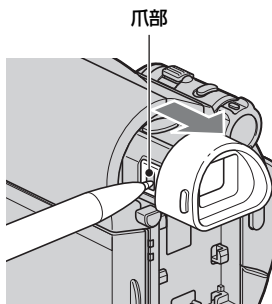
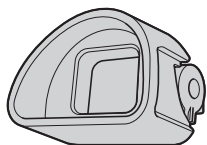
- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良いゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。また本機を良好な状態で長期にわたって使っていただくためにも、月に1回程度、本機の電源を入れて操作することをおすすめします。

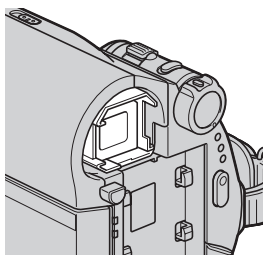
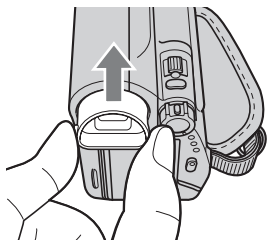
ファインダーのお手入れについて

ファインダーの内部にゴミが入った場合は、次の手順で取り除いてください。

① ファインダーをのばす。

② ボールペンのような先の細いものを使って爪部を押しながら、矢印の方向へアイカップをずらして取りはずす。

爪部

③ アイカップブロックについているゴミをカメラレンズ用ブロアーブラシなどで取り除く。

④ ファインダーを押して本体へ収める。

⑤ 本体のアイカップブロック取り付け部についているゴミをカメラレンズ用ブロアーブラシなどで取り除く。

⑥ アイカップをまっすぐに差し込み、「カチッ」という音がするまで押し込んで取り付ける。

ご注意

- アイカップブロックは精密部品のため、分解しないでください。
- アイカップブロックのレンズ部には触れないでください。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機が付属のACアダプターを使ってコンセントにつながっているか、バッテリーを取り付けている限り常に充電されています。ACアダプターで電源につながない、またはバッテリーを取り付けないままで**3か月**近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。
ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

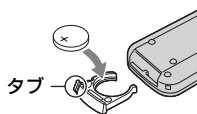
■ 充電方法

本機を付属のACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、POWERスイッチを「OFF (CHG)」にして24時間以上放置する。

リモコンの電池を交換するには

① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引出す。

② ＋面を上にして新しい電池を入れる。

③ 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。

ご注意

- リモコンには、ボタン型リチウム電池（CR2025）が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

“メモリースティック　デュオ”を廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、“メモリースティック　デュオ”内のデータは完全には消去されないことがあります。“メモリースティック　デュオ”を譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また“メモリースティック　デュオ”を廃棄するときは、“メモリースティック　デュオ”本体を物理的に破壊することをおすすめします。

主な仕様

システム

録画方式
回転2ヘッドヘリカルスキャン

静止画記録方式
Exif Ver.2.2*

録音方式
回転2ヘッド
12ビット32kHz（ステレオ1、ステレオ2）
16ビット48kHz（ステレオ）

映像信号
NTSCカラー、EIA標準方式

使用可能カセット
Mini DV マークのついたミニDVカセット

テープ速度
SP：約18.81mm/秒
LP：約12.56mm/秒

録画/再生時間
SP：60分（DVM60使用時）
LP：90分（DVM60使用時）

早送り、巻き戻し時間
バッテリー使用時：
約2分40秒（DVM60使用時）
ACアダプター使用時：
約1分45秒（DVM60使用時）

ファインダー
電子ファインダー（0.27型、アスペクト比16:9、123 200ドット）

撮像素子
3.0mm（1/6型）CCD固体撮像素子
総画素数：約107万画素
静止画時有効画素数：約100万画素
動画時有効画素数：約69万画素

ズームレンズ
カール ツァイス　バリオテッサー
25倍（光学）、2 000倍（デジタル）
f=2.5～62.5mm
35mmカメラ換算では
「CAMERA-TAPE」時：
41～1 189mm（16:9モード）
（4:3モードでは43～1 075mm）
「CAMERA-MEMORY」時：
36～900mm（4:3モード）
（16:9モードでは39～975mm）
F1.8～3.2
フィルター径30mm

色温度切り換え
［オート］、［ワンプッシュ］、
［屋内］（3 200K）、
［屋外］（5 800K）

最低被写体照度
8lx(ルクス)(オートスローシャッター 入、シャッタースピード1/30秒)
0lx(ルクス)(NightShot plus時)

* (社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画用のファイルフォーマット。

入出力端子

A/Vリモート端子
10ピン特殊コネクター
映像:1Vp-p、75Ω
Y出力　1Vp-p、75Ω
C出力　0.286Vp-p、75Ω
音声:327mV(47kΩ負荷時)、出力インピーダン ス2.2kΩ以下

USB端子
mini-B

DV端子
i.LINK(IEEE1394 4ピンコネクターS100)

液晶画面

画面サイズ
6.7cm(2.7型、アスペクト比16:9)

総ドット数
123 200ドット
横560×縦220

電源部、その他

電源電圧
バッテリー端子入力6.8V/7.2V
DC端子入力8.4V

消費電力
2.5W(ファインダー使用時、明るさ標準)
2.8W(液晶画面使用時、明るさ標準)

動作温度
0℃~+40℃

保存温度
−20℃~+60℃

外形寸法
63×85×114mm(幅×高さ×奥行き)(突起部含む)
63×85×115mm(幅×高さ×奥行き)(突起部含む、付属バッテリーパックNP-FH40装着状態)

本体質量
約390g(本体のみ)

撮影時総質量
約455g(バッテリーNP-FH40、テープ(DVM60)含む。)

付属品
7ページをご覧ください。

ACアダプター　AC-L200/L200B

電源
AC100V~240V、50/60Hz

消費電力
18W

定格出力
DC8.4V *

動作温度
0℃~+40℃

保存温度
−20℃~+60℃

外形寸法
約48×29×81mm(最大突起部をのぞく)(幅×高さ×奥行き)

質量
約170g(本体のみ)

* その他の仕様についてはACアダプターのラベルをご覧ください。

リチャージャブルバッテリーパック NP-FH40

最大電圧
DC8.4V

公称電圧
DC7.2V

容量
4.9Wh（680mAh）

最大外形寸法
約31.8×18.5×45.0mm
（幅×高さ×奥行き）

質量
約45g

使用温度
0℃～+40℃

使用電池
Li-ion

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

■ 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

■ それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口（裏表紙）にお問い合わせください。

■ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■ 部品の保有期間について

当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

■ 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。

機器本体や付属品、記録メディアは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や“メモリースティック”などを飲み込む恐れがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。

また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

火災
感電

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

禁止

火災や感電の原因になることがあります。

ぬれた手で使用しない

ぬれ手禁止

感電の原因になることがあります。

コード類は正しく配置する

指示

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中のバッテリーや製品に長時間ふれない

禁止

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない

禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす

プラグをコンセントから抜く

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

レンズや液晶画面に衝撃を与えない

禁止

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

電池や付属品、記録メディア、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

指示

電池や“メモリースティック”などが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがや**やけど、火災**などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

⚠危険

- バッテリーパックは指定されたACアダプターや、バッテリーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡らさない。濡れた電池を充電したり、使用したりしない。

禁止

⚠警告

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。

- ボタン電池は充電しないでください。

禁止

⚠注意

- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取りはずしておく。

指示

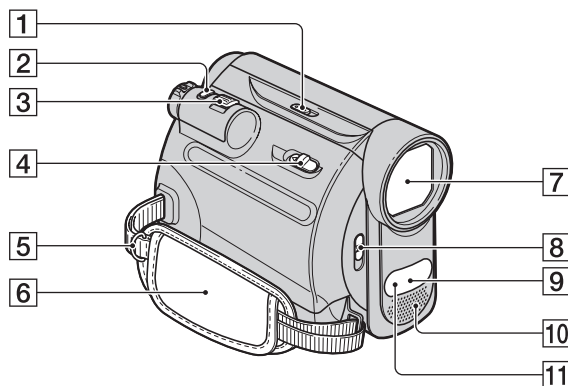
お願い

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったこれらの電池は、金属部分にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion
リチウムイオン電池

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については
有限責任中間法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。

各部のなまえ

(　)内は参照ページです。

1 NIGHTSHOT PLUS スイッチ（19）

2 PHOTO（フォト）ボタン（15、18）

3 ズームレバー（19、23）

4 OPEN/EJECT つまみ（13）

5 ショルダーベルト取り付け部

ショルダーベルト（別売り）を取り付ける。

6 グリップベルト（12）

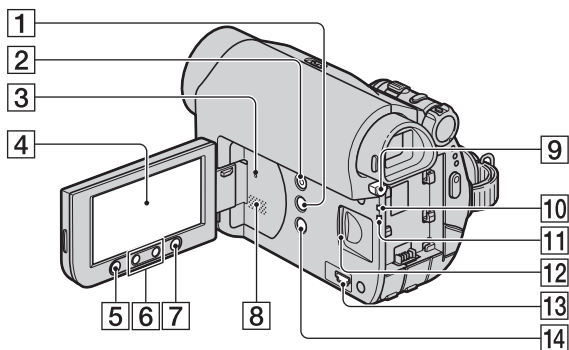
7 レンズ（カールツァイスレンズ搭載）（4）

8 LENS COVER（レンズカバー）開閉スイッチ（12）

9 リモコン受光部

リモコン（91ページ）は、リモコン受光部に向けて操作する。

10 内蔵ステレオマイク（43）

11 赤外線発光部（19）

1 DISP/BATT INFO（画面表示 / バッテリーインフォ）ボタン（9、12）

2 EASY（かんたん操作）ボタン（15）

3 RESET（リセット）ボタン

日時を含めすべての設定が解除されます。

4 液晶画面 / タッチパネル（12、92）

5 REC START/STOP（録画スタート/ストップ）ボタン（15、17）

6 ズームボタン（19、23）

7 WIDE SELECT（ワイド切換）ボタン（20）

8 スピーカー

再生時の音声が聞けます。音量調節については、21ページをご覧ください。

9 BATT（バッテリー取りはずし）PUSH ボタン（9）

10 CHG（充電）ランプ（8）

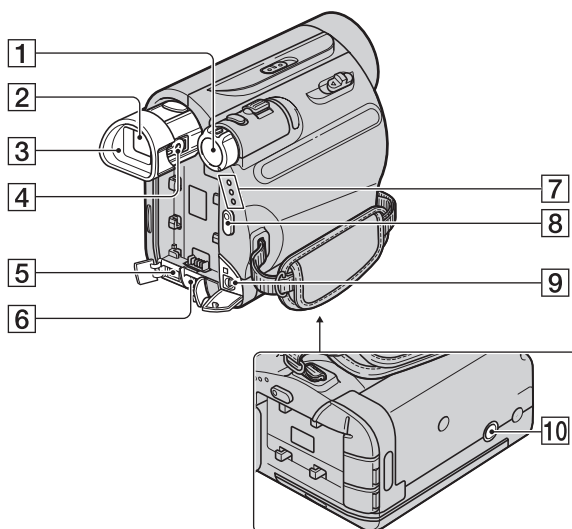
11 アクセスランプ（14）

12 メモリースティック　デュオスロット（14）

13 ψ（USB）端子（55）

14 ☒（逆光補正）ボタン（20）

各部のなまえ・索引

次のページへつづく→

1 POWER（電源）スイッチ（11）

2 ファインダー（12）

3 アイカップ（80）

4 視度調整つまみ（12）

5 i.DV 端子（50、52）

6 DC IN 端子（8）

7 CAMERA-TAPE（撮る－テープ）、CAMERA-MEMORY（撮る－メモリー）、PLAY/EDIT（見る / 編集）ランプ（11）

8 REC START/STOP（録画スタート/ストップ）ボタン（15、17）

9 A/Vリモート端子（27、50）

10 三脚用ネジ穴

三脚（別売り、ネジの長さが5.5mm以下）を三脚用ネジ穴に取り付ける。

ワイヤレスリモコン

ご注意

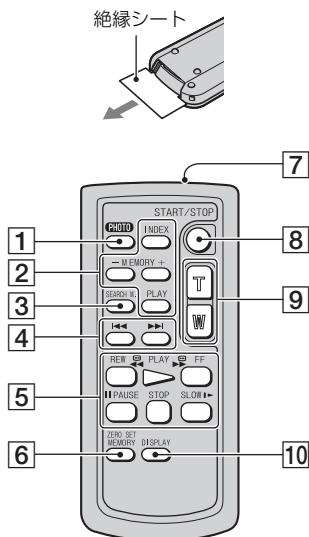
- 絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。
- 本機前面のリモコン受光部に向けて操作してください(88ページ)。
- 電池交換については、81ページをご覧ください。

1 PHOTO(フォト)ボタン *(15、18)

押したときの画像が静止画として"メモリースティック デュオ"に記録されます。

2 メモリー操作ボタン(INDEX(インデックス) ボタン **、− / ＋ボタン、PLAY(メモリー再生) ボタン)(16、22)

3 SEARCH M.(サーチ選択)ボタン **(26)

4 ⏮ ⏭(前の画像 / 次の画像)ボタン **(26)

5 ビデオ操作ボタン(REW(巻戻し) ボタン、PLAY(再生) ボタン、FF(早送り) ボタン、PAUSE(一時停止) ボタン、STOP(停止) ボタン、SLOW(スロー) ボタン)(16、21)

6 ZERO SET MEMORY(ゼロセットメモリー)ボタン **(25)

7 リモコン発光部

8 REC START/STOP(録画スタート/ストップ)ボタン(15、17)

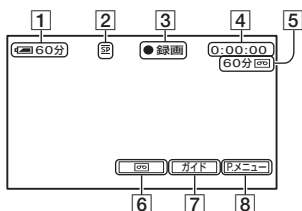
9 ズームボタン(19、23)

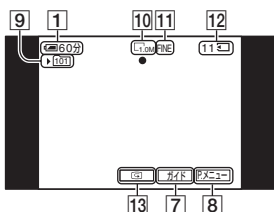
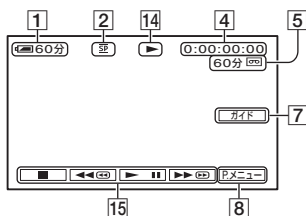
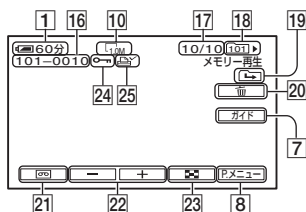
10 DISPLAY(画面表示)ボタン

バッテリー残量などの情報を表示↔非表示と切り換えられます。

* かんたん操作中にPOWERスイッチを「CAMERA-TAPE」にしたときは働きません。

** かんたん操作中は働きません。

画面表示

動画を撮影中

静止画を撮影中

動画を再生中

静止画を再生中

1 バッテリー残量の目安

2 録画モード(SP または LP)(45)

3 撮影状態([スタンバイ]/[● 録画])

4 撮影中:テープカウンター(時:分:秒)
再生中:テープカウンター(時:分:秒)/タイムコード(時:分:秒:フレーム)

5 テープ残量の目安(46)

6 エンドサーチ / エディットサーチ / レックレビュー画面切り換えボタン(24)

7 ガイドボタン(23)

8 パーソナルメニューボタン(29)

9 記録先のフォルダ(38)

10 画像サイズ(20、37)

11 画質(FINEまたはSTD)(37)

12 "メモリースティック　デュオ"表示と記録可能なおよその枚数

13 レビューボタン(18)

14 テープ走行表示

15 ビデオ操作ボタン(21)

16 データファイル名

17 再生中の画像番号 / フォルダ内の合計枚数

18 再生フォルダ(38)

19 前後フォルダ表示

"メモリースティック　デュオ"内に複数のフォルダがあるとき、フォルダ内の最初/最後の画像になると表示される。

：［−］で前フォルダへ

：［+］で次フォルダへ

：［−］/［+］で前/次フォルダへ

20 画像消去ボタン(54)

21 テープ再生切り換えボタン(22)

22 前の画像 / 次の画像ボタン(22)

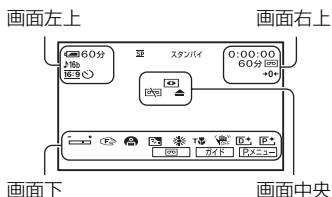
23 インデックス表示ボタン(22)

24 プロテクト(55)

25 プリントマーク(54)

液晶画面とファインダーの表示

[表示ガイド]で、各表示の説明を液晶画面でも確認できます([表示ガイド]、94ページ)。

- 一部、[表示ガイド]で表示されないものがあります。

画面左上

表示	意味
♪16b	音声モード(45)
BRK	連写(36)
	セルフタイマー録画(35)
16:9	ワイド(16:9)切換(20)
	インターバル静止画記録(41)

画面右上

表示	意味
DV IN	DV入力(52)
DVOUT	DV出力(50)
i.LINK	i.LINK接続(50、52)
→0←	ゼロセットメモリー(25、91)

画面中央

表示	意味
all 1	スライドショー(39)
	NightShot plus(19)
S	Super NightShot plus(35)
	Color Slow Shutter(35)
	PictBridge接続中(55)

表示	意味
	警告(70)

画面下

表示	意味
P	ピクチャーエフェクト(40)
D	デジタルエフェクト(40)
F	手動フォーカス(34)
	シーンセレクション(32)
	逆光補正(20)
	ホワイトバランス(33)
OFF	手ブレ補正(36)
T	テレマクロ(34)
	フレキシブルスポット測光(33)/カメラ明るさ(33)

その他の表示

表示	意味
	お知らせメッセージ(71)

ご注意

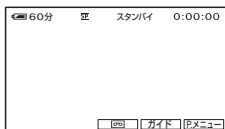
- 表示内容や位置は目安であり、実際と異なることがあります。

撮影時のデータについて

撮影時の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中には表示されませんが、再生時に[日時/カメラデータ表示]として確認できます(46ページ)。

画面表示を確認する（表示ガイド）

画面に出ている表示の意味を簡単に確認できます。

① ［ガイド］→［表示ガイド］をタッチする。

② 確認したい表示の入っているエリアをタッチする。

エリアにある表示の意味が一覧で表示されます。確認したい表示が見つからないときは、▲/▼をタッチして表示させてください。

終了するには、［終了］をタッチする。

ちょっと一言

- P.メニュー→［表示ガイド］をタッチしても操作できます。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

アルファベット順

数字

商標について

- Handycam、HANDYCAMはソニー株式会社の登録商標です。
- "Memory Stick"、"メモリースティック"、MEMORY STICK TM、"メモリースティック デュオ"、MEMORY STICK DUO、"メモリースティック PRO デュオ"、MEMORY STICK PRO DUO、"メモリースティック　PRO-HG　デュオ"、MEMORY STICK PRO-HG DUO、"メモリースティック マイクロ"、"マジックゲート"、MAGICGATE、"MagicGate Memory Stick"、"マジックゲート メモリースティック"、"MagicGate Memory Stick Duo"、"マジックゲート メモリースティック デュオ"はソニー株式会社の商標です。
- InfoLITHIUM(インフォリチウム)はソニー株式会社の商標です。
- i.LINK、iはソニー株式会社の商標です。
- Mini DV Digital Video Cassetteは商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Media、Windows Vista、DirectXはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Intel Core、Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe logo、Adobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

■ 製品についてのサポートのご案内

ホームページで調べる

ハンディカムの最新サポート情報
(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)
http://www.sony.co.jp/cam/support/

ハンディカムホームページ
http://www.sony.co.jp/cam
ハンディカムの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。

メモリースティック対応表
http://www.sony.co.jp/mstaiou
使用可能な"メモリースティック"を確認することができます。

付属ソフトウェア(Picture Motion Browser)のサポート情報
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

電話で問い合わせる(ソニーの相談窓口)

●使い方相談窓口
フリーダイヤル **0120-333-020**
携帯・PHS・一部のIP電話 **0466-31-2511**
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「400」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

●修理相談窓口
フリーダイヤル **0120-222-330**
携帯・PHS・一部のIP電話 **0466-31-2531**
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「400」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
ホームページ　http://www.sony.co.jp/di-repair/
FAX(共通):0120-333-389
受付時間:月~金 9:00 ~ 20:00　土·日·祝日 9:00 ~ 17:00

■ カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心、便利な各種サポートが受けられます。
詳しくは、同梱のチラシ「カスタマー登録のご案内」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-regi/

登録後は登録者専用お問い合わせ窓口をご利用いただけます。
詳しくは下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/cam/contact/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1　http://www.sony.co.jp/

この説明書は70%以上の古紙再生紙とVOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan

SONY
HANDYCAM
DCR-HC62